

筑波大学総合学域群オープンキャンパス2026

SOUGOU!
[ソウゴウ!]

総合生に聞いた!

各科目の
勉強法

夏特別号

7

[2026]

総合学域群への誘い^{いざな}

筑波大学ってこんなに広い!

CAMPUS MAP

受験アドバイス

&

総合学域群ってどんなところ?

総合生座談会

今日から使える

学食のススメ!

住居のお悩み解決!

筑波大生の暮らし

記事担当

嶋田真帆 (人文・文化学群 比較文化学類 3年 元総合生)
小野里湊侑 (人文・文化学群 日本語・日本文化学類 2年 元総合生)
木村湊 (理工学群 社会工学類 2年 元総合生)
鈴木琴子 (芸術専門学群 2年 元総合生)
花井深雪 (情報学群 知識情報・図書館学類 2年 元総合生)
空岡祈実 (総合学域群 第2類 1年)
三牧周平 (総合学域群 第1類 1年)

編集担当

上田ラナ (芸術専門学群 3年)
楠本由紀 (芸術専門学群 3年)
島谷菜月 (芸術専門学群 3年)

本日は筑波大学・総合学域群のオープンキャンパスにお越しください、誠にありがとうございます。このパンフレットの制作にあたり、班長を務めさせていただいた嶋田真帆と申します。

総合学域群に興味を持ち、こうして実際に足を運んでくださる皆さんの姿を想像して、私はふと自分の高校時代を思い出しました。実は、私自身は一度もオープンキャンパスに行ったことがないのです。高校から勧められてはいたものの、当時はコロナ禍だったこともあり、受験勉強ばかりに専念して、進路について深く考える機会を持たないまま卒業してしまいました。

しかし、大学生になった今、そのことを少し後悔しています。なぜなら、大学に入学すると勉強方法から生活スタイルまで、あらゆるものが一変するからです。入学当初は新しい日々が楽しくもありましたが、同時に戸惑うことも多く、大変な思いもしました。その時を振り返ると「オープンキャンパスに行って筑波大学や総合学域群のことを少しでも知ってれば、ちょっとは楽に大学生活をスタートすることができたのかな」と、思うのです。

だからこそ、折角ここまで足を運んでくださった皆さんには、当時の私と同じような思いをしてほしくありません。ぜひこの機会を活かして、総合学域群のことを少しでも多く知って帰ってください！その際、このパンフレットが少しでも皆さんのお役に立てたのなら制作陣一同、大変嬉しく思います。

最後に、このパンフレットの制作に携わってくださった皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました！



もし、パンフレットのご意見や感想などがありましたら、QRコードのフォームからメッセージをお送りいただくと嬉しいです。今後の参考にさせていただきます。



総合生の声①

橋本 奈央さん



橋本 橋本奈央と言います。三年生で、総合学域群には総合選抜の文系で入学して、比較文化学類に移行しました。公立高校の出身で、高校は100%と史学部に入っていました。今は全代会（全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議）に入っていて、二年生までは学実委（学園祭実行委員会）に所属していました。学生組織は大学の生活環境のためとか、学園祭のためとか、何かを目的にして仕事をしていて、大人の世界でも通用するような英語とか対応を学べるからすごく勉強になりました。あとは全代会も学実委も所属人数がとても多いから友達を増えやすいっていうのもあります。私はサークルじゃなくて学生組織系に入りたいけどそろそろ同じように来いしく活動できるのをおすすめです。

橋本 ありがとうございます。では本題に入ります。まず総合学域群で良かったと思うところはありますか。

橋本 総合学域群で良かったと思うのは、大学の学問に実際に触れてから自分の専門を決められたことですね。高校の時に比較文化学類が国際総合学類かつ迷って、というのも、世界史が好きだったから世界の文化や海外に関することをやりたくて、どっちの学類でも選んでみるんですけど、「どういう違いがあるのか」とか大学の実際の授業の様子とかを高校の時に分らないまま決めるのは不安だったので、総合で受験しました。実際、大学で比文の授業と国際の授業を受けて、アローチの仕方の違いとか、それ以外にも降音科学とか他学類の授業をとってみると、こっちは専門分野も面白いって世界が広がって、最後、自分にとってベストな選択ができたっていうのが良かったです。

橋本 総合学域群で大変だったところはあるかな。反対に総合学域群で良かったところはあるかな。

橋本 大変だったのは、やっぱりいい成績を取らなきゃいけないというプレッシャーですね。「自分がどれくらい点数取れば希望の学類に行けるのか」っていうのが、ある程度は模範判定とかで分かったけど、それでも確証はないから、「じゃあいい点数取ろう」ってなるって、レポートも、出せば単位は来るだろうけど、いい点数取るにはもっと時間かかきやういっていうのがあって、期末の期間とかは大変でした。

橋本 ありがとうございます。次は高校時代に興味があった学問と、大学、総合に入ってから興味を持った学問で違いがあったのか、同じだったのか、というのを聞きたいです。

橋本 世界史は高校の時も好きだったけど、大学の歴史学は高校の歴史とは違いましたね。暗記とかではなくて、歴史はどう見るか、その見方にある背景とかを考えるのに大学に入ってからハマりました。二つの出来事でも違う見方がある、「教科書に書いてある一面的な見方だけじゃない」っていうのが気づけたのが良かったです。逆に、高校の時も語学とかに興味があるかなと思ったんですけど、実際総合の時に言語学入門みたいな人文文の基礎科目を受けたらそんなに自分って言語に興味持てないなってことに気づいて、そこで高校の時に思っていた興味で、実際に大学に入ってみたいって思ったんですけど、やっぱり思のあはりました。

橋本 では少し話をさかのぼって、総合選抜で受験しようと思ったのはなぜですか。

橋本 最初は筑波大の比較文化学類に興味を持ってたんですけど、親には「就活だと国際とかの方が強いんじゃないか」って言われて、確かに「国際でも自分のやりたいことやれるな」って思ってたんですけど、でも二次試験が二科目って結構難しいって高校の先生には言われて。最後は迷って、決めきれなくなって総合を選びました。

橋本 最終的に比文を移行先として志望した理由は何ですか。

橋本 国際の授業って私が受けたものだとか国際政治とか国際関係、近現代の政治的な要素が多かったけど、私がやりたいのは人々の解釈の仕方とか捉え方とか、近現代の世界大戦史とか好きなもので、「それを人々がどんな風に今解釈しているのか」とか、そういう気持ちの部分に興味を持ったからそれができるのは比文かな。プラス、比文の学類開設の授業も当時受けてみてすごく楽しかったし、レポート書くときに読んだ論文にも興味を持って、比文の世界に惹かれていました。

橋本 ありがとうございます。次は受験勉強で意識していたことを教えてください。

橋本 私は三年間バス通学だったんですけど、その中で英語と古文単語とか暗記するのめを頑張りました。毎週単語テストみたいなのがあったから、必然的にやらなきゃいけないって、移動時間で単語は勉強してました。高校の課題がめちゃくちゃ重かったっていうのもあるんですけど、学校が「塾とか入んなくていい」みたいな方針だったので塾は通わず、高校から指示された一日のノルマの勉強時間になってきたけど近づけよう



うって頑張ったから、その勉強時間を確保しようっていう気持ちはありました。部活あるのに一日四時間とかは絶対無理なんですけど。

橋本 目標をきめて設定しておくのは、やる気を出す方法としてはいいですね。

橋本 苦手教科は、意識的に克服しようって頑張りました。数学がとても苦手で高1のときは赤点とか取ってたんですけど、本当に教科書の基礎問題からやり直して、苦手なのは無理せず基礎から立ち返ってやればできるようなので。部活の先輩が結構勉強してたから、憧れ、というわけじゃないけど刺激があったし、部活の同期五人くらいみんなめっちゃ頑張ってた。だからよくテストの点数競いとかやって、ライバルみたいな関係で高め合ってたっていうのもありました。

橋本 ありがとうございます。受験勉強する上で戦術がありましたか。

橋本 国語は一番でも全然点数取れなかったから何とも言えないんですけど、ひたすら古文単語とか漢文の単語を覚えしました。あと筑波は和歌が出るので、和歌のノリみたいなのを先生が貰い出してたから、和歌に特化したワークみたいなのをやりました。国語って難しいので、国語よりも暗記すれば絶対点数取れる歴史とかを頑張った方が、受験的にはいいのかなって気がしました。国語に比べたら、英語とかの方が基本の問題が出ますね。頑張るなら、教科書を赤シートで暗記するので乗り切れる英語、歴史がいいかな。数学に関してはわかんないです。

橋本 数学のことで補足しておくのであれば、実は筑波の数学も文系に関しては簡単で、だから「河合塾の記述模試の問題は、ある程度解けます」っていうことになるって、その偏差値がそのまま反映されてくるって全然いいはずなので、数学に苦手意識がない人は数学を担うのもありだと思います。

橋本 歴史というと本当にまんべんなく出ますね。多分過去問の傾向見た感じ毎年結構同じようなテーマで出るから、直近の過去問を解き直すのは大事なかなと思います。

橋本 高校一年生は最初の基礎基本を固めるために英語と数学はやった方がいいと思います。二年生も同じかな。やっぱり苦手はできるだけ二年生ぐらいまでに解消しとくと三年生楽だよね。

橋本 ありがとうございます。三年生は最後だから、歴史をやるんだから三年生始まったぐらいから語の始めて良いと思います。直前期は過去問を解いて演習にあててもらえればと思います。



総合生の声②

空岡 祈実さん



空岡 総合学域群第二類で一年生の空間新実です。選抜区分は理系一です。東京出身で、東京都の中高一貫校に通ってました。中学からずっと演劇部に所属していて、高三の四月に引退しました。大学は様式テニスサークルと、トランポリン同好会と、つくば学生農業ヘルパーという農家さんにお手伝いをしに行く有償ボランティアサークルに入りました。委員会は総合学域群のオープンキャンパス準備委員会の動画作成とかに入ってます。

鈴木 ありがとうございます。はじめに総合に入ってたと思ったところを教えてください。

空岡 やっぱ色々な学域について詳しく知れるっていうのはすごく良かったなって思います。入学してすぐに受けたのが春季ガイダンスだったんですけど、その時にいろんな教授のお話とか、学域の詳しい説明をしてくださる先生もいて、入学前に知らなかった学域のこともよく知ることができて、全然知らなかった学域に興味湧いたりしたので、すごく良かったなと思っていました。

鈴木 反対に、総合学域群で大変だと思ったところを教えてください。

空岡 成績のことを考えないといけないことですね。私は理工学群への移行を考えていて、数学とか物理化学の授業を取ることが多いんですけど、「移行するのに成績が重要」っていうのを聞いてるんですけど、必修の単位と、理工学群に移行するための単位だけを考えると三十単位しかりまなくて(※筑波大学は一年で原則四十五単位まで履修できる)、あと十五単位をどう埋めるか。みたいなのを考えるのは大変だなと思います。

ます。
鈴木 先ほど春季ガイダンスのお話もありましたが、高校時代に興味のあった学問と、総合に入ってから新しく興味を持った学問について教えてください。

空岡 もともと第一志望は理工学群の化学類で考えてたんですけど、サークルの新款とかで先輩から他の学域について聞くことが結構あつた。「化学に興味があるんですけど」っていう話をすると、「応用理工学群とか生物資源学群にも化学専攻のコースがあるよ」っていう話をされて、もし生物資源寄りの化学とか、応用理工学群寄りの化学に興味があったら、そういう学域に進むのもありなのかなっていう風に思いました。

鈴木 ありがとうございます。では高校時代にさかのぼって、総合選抜で受験しようと思ったのはなぜですか。

空岡 東京出身なので筑波ってなると地方に行くってことと一人暮らしっていうことになるので、そこにとちょっと抵抗があつて、筑波大を第一志望に最終決定したのは高三の五月でした。その時は「化学類かな」って思ってたんですけど、総合学域群っていうのがあるのは知ってたので、模試とかでは第一志望を理工学群の化学類にして、第二志望を総合学域群の理系一にして、ずっとどっちがいいのかな、どっちかといえど「化学が」みたいな状態で、共テ終わってからちゃんど筑波大について調べたら、理工学群の中にも応用理工学群とか工学システム学群とか、一見するとよくわからない学域もあつた、そういうところをあんまりよく知らずに化学類って決めちゃったのは、なんかちょっと違うなって、化学にももちろん興味があつて、高校

時代は化学が一番科目の中で好きだったんですけど、物理も好きで、興味はありました。それで、物理分野にも進むかもしれないなっていうのがあつて、化学類よりも総合学域群の方が選択肢が広がるなと思ったのと、「あと一年考えたいな」っていうことで、総合選抜にしました。

鈴木 共テが終わるまで共テに力を注いでたので、過去問をあんまり解いてない状態は不安もあつて、「合格最低点が低い方に出そうか」みたいな面もありました。

鈴木 受験勉強で意識していたことを教えてください。今ちょうど話が出ましたけど、「どちらかというと共テのほうに注力していた」という感じですかね。

空岡 秋、十月ぐらいから、十二月、一月はずっと共テでした。二次試験の勉強もちょっとはやるべきみたいなことをよく言われるんですけど、私は一個に集中したいタイプだったので、自分に合わせるってなったら、やっぱり十二月、一月に共テをやるっていう風にしてました。受験勉強で一番大切にしてたのは基礎を重視することでした。特に物理でそれを気をつけてたんですけど、教科書を使った勉強から始めて、教科書の例題や応用問題を解いてから、問題集に行く。問題集でもわからなかったら絶対教科書に戻って、線を引いたり付箋を貼ったりして、数学とかでもわからなかったら絶対教科書を見るっていうのをすこしづつつけてました。学校で配られる教科書って良いとか悪いとかいろいろな意見もあるんですけど、私は結構ちゃんと読んで、問題集何回もやるよりも、私は教科書を見てた気がします。共テの後に総合選抜を受験すること決めましたけど、理工学群の化学類と総合選抜理系一は全部配点が一緒だったので、総合に変えてもあんまり勉強法は変わらな

かった気がします。

鈴木 化学類第一志望にしていたけど、総合に切り替えるのも割と容易だったんですね。

空岡 総合は二次試験の方が配点が高んですけど、生物資源とかは共テの方が配点が高いので、もともと生物資源志望とかだとちょっと迷いがあるかもしれないですね。

鈴木 ありがとうございます。最後に、このパンフレットを読んでいる方に向けてメッセージをお願いします。

空岡 今、どこの大学にするかとか、どの学部にするかとか、迷っている人いると思うんですけど、総合学域群は迷える期間が一年延びるっていう

ところがあるので、もしすこし迷ってて「どうしよう、みんな決まってるし」みたいな焦りがある人は、総合学域群に決めてみるのいいんじゃないでしょうか。あとすでに入学して二ヶ月で「総合学域群入って良かったな」って思っているので、私からは結構おすすめできます。



三牧 周平さん

鈴木 高校時代は人文系に興味があったとのことですが、高校時代と大学に入ってから興味の变化があったら、教えてください。

三牧 まず情報系の学部にももっと興味が出ましたね。知識情報・図書館学類とかは割と文系でも行きやすいみたいな話は聞いているので、ただ、僕がやりたいのが史学なんですけど、それで「史学をやりたいか、情報をやりたいか」っていう気持ちにはあっても、でも行けるんだったら、情報系も一つとしてありだっているのはありました。人文に関しては、今も引き続き興味があります。でも自分が一番やりたいのは江戸時代なんですけど、人文手類に江戸時代の先生がいなくて言われて、比較文化学類にはいらっしやると聞いたので、今は比文に興味が出てますね。

鈴木 ありがとうございます。では受験勉強の話に移りたいと思います。受験勉強で何か意識していたことはありましたか。

三牧 塾に行っていたんですけど、その自習室に放課後は行くようにしてましたね。だいたい閉館までいるみたいな感じ。それを高三の時にやってたんですけど、各科目の勉強に関してはとりえず英語が激烈にできなかった。夏まではほぼ英語みたいな感じで、高二の終わりの模試の偏差値が三とかで、さすがにやばいってなっちゃった。ぶっちゃけあんまり勉強してなかったのかって思ってたんで、最後までこまめにやったのかって覚えてんですけど、でも一応成績開示見た感じ、一番英語ができてはいました。

鈴木 他の科とは別に英語で対策はしましたか。

三牧 夏の夏期講習とかで筑波大の解説授業とかあって、それを取ったっていうので、英語の課題は割と最初から把握できていたかな。自由英作文は結構練習しましたね。之使って添削したりとか、結構自由英作文って他の大学の問題とかでも演習にはなると思うんで、いろんな大学の問題を見てもいいのかなと思ったりもしました。逆に日本史は結構自信あったんですよ。知識だけはとりえずあったんで、その心配はあんまりしてませんでした。ただ、書けるかどうかは別問題だったんで、過去問はいっぱい解きましたね。多分十年分くらい、添削もしてもらったりして、割と真逆のこと言っていたりもするんですよ。だから「どっちがいいのかな」みたいなのをちょっと考えたりはしてました。でも日本史が息抜きであったりはしましたね。

鈴木 では最後に、このパンフレットを読んでいる方にメッセージをお願いします。

三牧 音楽は聞いた方がいいですね。向き不向きはあると思うんですけど、あと普通にずっと勉強しているとおかしくなっちゃうから、夏休みまでは割と結構息抜いたほうがいいっていうか、もちろん勉強はしたほうがいいんですけど、あとあんまり周りを見すぎないことですね。僕の環境的にあんまりなかったっていうのもあるんですけど、周りが何時間勉強したから、自分もそのくらいやんないといけないみたいな思い込まれ方は絶対しなくていいと思います。

鈴木 ありがとうございます。

三牧 総合一類の三牧周平です。受験区分は文系でしたが、中高一貫校の出身で、部活は物理部と写真部に入っていました。物理部ではロボット作ったりする感じで、写真部は普通に写真撮ってました。今は陸上同好会と、学園祭実行委員会に入っています。

鈴木 総合学域群でよかったなと思うところを教えてください。

三牧 広い範囲で授業を取れるっていうのはいいなと思います。割と自分の興味がまだふわふわしてるので、その意味でもいろんな知見を得られるっていうのはありがたいですね。

鈴木 反対に総合学域群で大変だと思ったところを教えてください。

三牧 移行条件のことはちょっとやっぱり気にしないといけないのと、あと履修を組むのは大変だなと思います。専門導入科目と学群が開設している授業の被りがあったりするので、学群の方は来年取れるからいつたん来年に回してみたいな感じにしたところがありましたね（※専門導入科目については「ラム」の「筑波大学の授業システム」を参照ください）。

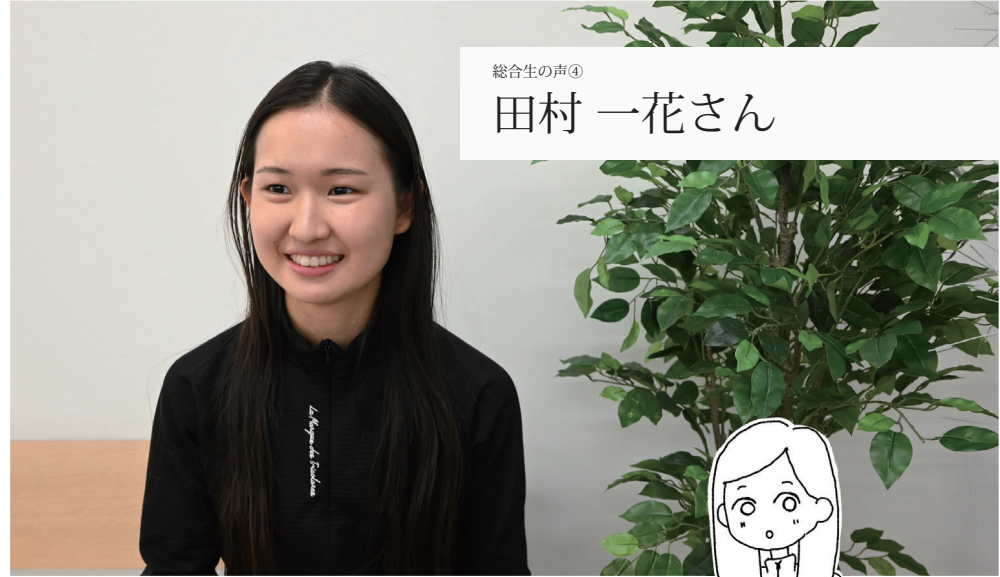
鈴木 総合ならではの大変さですね。では次に総合選抜で受験しようと思った経緯を教えてください。

三牧 最初は結構、人文系とかにも行きたいかなと思ってたんですけど、高校の先生に「とりあえず入っちゃいな」みたいなことを言われて、まあそれこそでなくなったっていうのと、自分が割と人文で受かる自信がなかったのもあって総合で受験することになりました。



総合生の声④

田村 一花さん



田村 生命環境学群の生物学類三年、田村 一花です。

総合学域群の理系Ⅱの入試形式で第三類に入学して、その後生物学類に移行した形になります。和歌山県出身です。私立の中高一貫校を卒業しています。中高時代は吹奏楽部の打楽器を六年間担当していました。大学では馬術部に所属をしています。その関係で今、体育会執行委員をさせていただいて、去年一年間、書記局長をさせていただきました。今年は委員長をさせていただきます。彼は全代会（全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議）の専門委員で国際特別委員会に所属しているのと、総合の新設委員会とこのオープンキャンパス準備委員会です。あと障害支援の学内ピアチャーターの「グループ」について、大学一年の時に養成講座を受けて、それから活動をしています。

田村 総合に入学して、総合学域群に入ってから思ったところを教えてください。

鈴木 そうですね。もともと私が総合学域群を選んで受けた理由は学類の選択ができるところですね。学類的な学びについていう言葉に基かれて、受験をします。入学してから、理系文系問わず、いろんな授業が取れたのがすごく魅力かなと思っています。文系の学類が理系の学類に進むことができるのも、大学入ってから決められたのがすごく良くて、私の場合は生物、医学と、あと大天にすごく興味があったので、なかなか他の大学だと同時に受けることについてのができないんですけど、それができたのはすごい魅力かなと思います。

鈴木 総合に総合での一年間で大変だったところを教えてください。

田村 これ落ちるやろとか一瞬思ってたんですけど、直前、貯金を切り崩していった感じがしました。私は生物選択だったんですけど、理系Ⅱは英語の比重が全部一掃なので、どれもバランスよく理解しているのはそうだったんですけど、結構生物が好きだったのって、「生物と、英語は確実に取れるように」ですね。伸ばすというよりは、もう順でいい感じですね。大失敗しないように、というのを担保した上で、化学と数学を支えてもらったとか。あとは筑波の数学で結構傾向がわかりやすかったりするので、無駄のないように勉強した感じですね。

田村 過去問は夏ぐらいに一回解いて、秋冬は一応傾向をある程度把握した上で、優先順位を先に決めて、残りのほうは、方向性も早めに見通し立てられたのはよかったかな。あとは選択問題にやや強めるのは結構リスク高かったんでやらなかったんですけど、でも「絶対ベクトルとか微積分は取なきゃいけないし」とか、落とせないところを先に固めたイメージですね。問題集も結構分野絞って、前から解くっていうよりは分野ごとに順番バラバラに解いてたりとかはしてましたかね。あとは過去問は結構繰り返し解いたと思います。

鈴木 ありがとうございます。最後に、のパンフレットを見る方にメッセージをお願いします。

田村 総合に限らないんですけど、大学の学科とか学類に入学する目的は持つとくと、受験勉強の糧になるのかなとは思いますが。ただ勉強する、とかじゃなくて、私の場合は結構「やりたいう」「勉強したいな」と思ってたのがあったりとか。総合じゃないと、こうやって広く選択するので

で、しかも「どちらからアプローチしようか」というところで迷って。その時に総合は入ってから決められるっていうところだったので、まずはどちらも学んでみたいっていうのもあったんですけど、最終的にどちらにターゲットを絞ろうかっていうのを自分で決めたいと思って、それで総合を受験しました。

鈴木 その中で、最終的に移行先として生物学類を希望したのはなぜですか？

田村 結構古病理学をどうアプローチしようかっていうのを模索してたんんですけど、自然人類学っていう分野が出てきたんですね。これはいろんな授業受けながら自分で調べて、二〇二〇年とか二〇二一年ぐらいでノーベル賞取られた方もいらっしゃるんですけど、その研究されている方が、生物よりみたいな感じのところがあったのと、生物学類の中でも、今私が所属している人間生物コースっていうのがあって、人を生物学的に、ものとして見るっていうところで、アレギのメカニズムも扱えたとか、あとはやはりその、植物が面白いっていうのが一年通して思ったので、生物学類にしようかなっていうのがありました。

鈴木 なるほど。一年間、総合での学びを経験したわけですが、入学前から興味があった学問と、大学に入ってから新しく興味を持った学問があったら教えてください。

田村 そうですね。古病理学に代表されるのが、エジプトのミイラの死因を調べるとか、掘り起こしてきた骨のゲノムとかのDNAとかを調べることなんですけど、骨の損傷とか見て死因を調べらるっていうのは小学校のころから好きで、だから、そういう道路を考えたっていうのはあるん

田村 総合ならではの言うところ、授業によって成績の評価方法が違うので、文系だったレポートが中心になったりして、理系の科目だと期末テスト一発だったり。そういうテストレポートか、みたいな形式が混ざったことですね。おそらく専門学類だとどちらか一方が中心になってくるので、どうやって勉強したらいいのが最初の方に分かったかもしれないんですけど、高校の時に比べて結構文学数の多いレポートと、大天にすごく感じのいいなって思いました。移行してかたどそんなに混ざることなかったんで、それが総合の「広く授業を取る」ならではの悩みかなと思います。あとはいろんな教室で授業があって、オンデマンドの授業ももちろんあるんですけど、様々な学類の授業を受けるために、色んな教室行ったりするので、一年間自転車で大変走らせた覚えがありますね。

鈴木 次に、総合で受験しようと思った経緯について詳しく教えてください。

田村 私がもともと興味があった分野が二つあって、一つが古病理学。考古学と病理学が混ざったみたいなもので、結構その名前自体も聞き慣れないんですけど、病理学的・生物学的な知見と考古学的な知見がどちらもあって、大学で専攻するのとは知らずにいうところ、というのがすごく気に入ったところですね。もう一つは、植物性のアレギーにすごく興味があって、これは私自身がアレギーにすごく興味があるというのがあるんですけど、その植物がそのアレギーを作るメカニズムについて、生物学に興味があったりとか、あとアレギーを発症する仕組みについていうのも、生物学だけにやなくて、医学とかも関わってくると思っていたの

です。自然人類とか、人類学みたいなものは、大学入ってから知ったという感じがすかね。それは高校の時までは知らなかったよな。一応のついでに学問なんだと知ってすごく面白かったんですけど、あれは生物もアレギー反応を出すんですけど、病原体に対して産生しているのがタンパク質だったんですね。もちろんゼロではないんですけど、やっぱりそういう植物が置かれた環境とか、その植物のメカニズムがアレギー反応のものになってるっていうのはあって、大学の授業でそういうのをしっかり研究しているようなところがあるっていうのは、すごく面白かったと思います。入学前とのギャップで言うと、どちらか選択するのは難しかったっていうのはあります。考古学と生物学とかを両立させてっていうのは、やっぱり専門学類は専門的な勉強で、そのプロフェッショナルになっていくような授業だったので難しくて。総合が「逆にいろんなものを取れたんだな」というのは、移行後により思い知ったことでした。

鈴木 少しさかのぼって受験勉強の話をお聞きます。受験勉強の時に意識していたこと、重要視していたことを教えてください。

田村 部活が結構あったのと、あとは個人的にも打楽器を習ったので、それが高三の冬までずっと続いて、やっぱり最後までちょっと頑張るっていうのはありましたね。でも大学入ってから専門を決めるっていうか、高校の時に学科を決めなきゃいけない切迫感はなかったんですけど、結構部活、習い事との両立っていうのは意識せざるを得ませんでしたね。

鈴木 三年生の冬までというところ、勉強との両立が重要になりますよね。



総合生の声⑤

木村 湊さん



木村 総合生と申します。今は二年生です。受験区分は理系1で受験して、一年生の時は総合学域群第二種で、そこから社会工学科に移行しました。高校は茨城県の私立高校で、高校と大学の部活、サークルはどちらも無所属です。

嶋田 無所属なのは理由とかあったりするんですか？

木村 特になくて、どこに入ろうかを考えてるうちに、ちょっと入る機会を逃して。

嶋田 なるほどね。わかりました。ありがとうございます。では質問に入っていくと思うんですけど、総合学域群で良かったと思うところを教えてください。

木村 総合学域群って「一年専門を決めるのを遅らせて、大学に入ってから自由に決められる」って謳ってるじゃないですか。最初大学入前は「社会工（※社会工学科の略称）がいいな」って思ってたけど、あまり社工の実情がわからなくて、もしかしたらミスマッチがあるのかもしれないってのがあったりして、一回総合学域群に入学したのが一応、総合に入った経緯です。良かった点としては、大学の学類の雰囲気というか、どういふことやめるのを見れたり、学べたりできるし、あとは迷う時間というか。最初は移行先の選択を残すために、ちょっと理系から出て文系だったり、「他の全然違う分野も履修して選択肢を増やそうかな」と思ってたんですけど、「意外と面白かった」みたいなのがあったので、これは「総合学域群でなかったら多分そういうのはなかった」と思います。

嶋田 反対に、大変だと思うところを教えてください。

木村 総合学域群で大変だったことは特になんですけど、限らず休んで休んじやうみたいなのは多々ありましたけど、テストとかに支障が出るほどのことはなかったです。

嶋田 ありがとうございます。続いて、総合選抜で受験しようとした理由を聞かせてください。

木村 これ本書でいいですか。

嶋田 本書でいいです。もちろんです。

木村 共通テストの点数が足りなかったからですよ。でも多分、社工を受けても受かったとは思ってます。私、共通テストは苦手だけど、二次試験は結構得意な方だったので、「点数的には足りたんじゃないかな」とは思ってたんですけど、当時の先生とかが結構、心配性だったんで。

嶋田 移行先を結局、社工にした理由っていうのは一年見てみたけど、やっぱり社工が一番面白そうだなっていうふうには思ってたからですか？

木村 本書は「エシス※工学システム学類の略称」行こうかな」って第一希望に書いたんですけど、点数が足りませんでした。実際に入学してから「エシスの方が良くないか」ってなって、そこへんは揺らぎながら、私、結構自分で決めるのが苦なので、だから自分で決まってる、大学の方から「あなたは点数がどうなのていいですよ」みたいな決めたらもう方が個人的にはちょっと楽だったかなと思います。

嶋田 ありがとうございます。じゃあ高校時代の話に入っていきます。受験勉強で意識していたことを教えてください。

木村 そうですね：あんまりないですかね。

嶋田 例えば、授業中に内職しちゃう人いますけど、「学校に従うべし」とか、「自分が信じることであれば、目標だったし、戦略を優先すべき」とかあったりしますか。

木村 結構難しいですね、やっぱり基本的に社会に出ると、仕事の時間になんか変なことってできないんですよ。もう高校というのも義務教育じゃないから、ちゃんやるべきことはやったほうが大学入ってから後々自分の利益になるのかな、っていうのはありました。だからもう内職はしないで、ある程度テストの点数を取ってというタイプでした。その上で、受験についてはどうするのか、で時に、学校の方針とかは全部信じてるじゃない、半々ぐらいかな。従った方がいいのかあまり良くないのかっていうのは、やっぱり自分の人生なんでね、自分で決めないと。

嶋田 では、次に受験勉強する上での戦略をお聞かせ

ください。

木村 私共通テストちょっと苦手で、もう早いところ見切りをつけちゃったんです。全力で二次試験の点数を取りに行こうって。一応、夏から本番まではしつかり共通テストやりました。けど、共通テストでどうせやっても伸びない部分では分かってたから、若干二次試験の勉強を入れたが同時並行的に行っていました。

嶋田 なるほど。高校時代、社工に興味があったというけど、ただと、大学、総合に入ってから興味を持った学問としてはエシスっていうのが出てきました。高校時代、エシスで選択肢は実際ありましたか。

木村 エシスって、外から見ると結構、工学系強いじゃないですか。私、一応建築士っていうゴールがあって、ぶっちゃけて言うと、建築士になれるなら大学はどことも良かったけど、やっぱり自宅から通いたかったっていうのもあるし、三人兄弟で、「できるだけ国立の方がいいよ」という親からの言葉もあって、筑波大がいいかなって。

嶋田 なるほど。確かに、社工でもエシスでも建築士になれるですね（二級建築士の受験資格を得ることができる）。

木村 けど、「エシスだとすごい工学によっちゃうんじゃないかな」とっていうので、都市計画とかやっている社会工学の方がいいのかなって。

嶋田 なるほど。興味ある学問のところで最終的に移行先としてエシスを一番に志望した理由はあるんですか。

木村 実験入塾してみても自分の就職とか将来のことを考えた時にエシスの方が結構融通が効くかな、と。エシスだったらず工学は全部でるし、なんなら社工よりこのことも若干手出せるっていう。だから自分に合うのを見つけてやさいのかなって。

嶋田 なるほど。ちなみに、社工に移行して自分に合うのは見つかりましたか？まだまだ模索中？

木村 都市計画って言うてもいろいろあるんですよ。だからまだ模索しています。

嶋田 ありがとうございます。じゃあ最後に、このパンフレットを読んでいる方に向けて勉強のことや進路のことについてアドバイスをください。

木村 あんまり大きな声では言えないし、総合から移行した身としても、ちょっとよくわかんないことと云ってると思うんですけど、二年生になって移行先で授業をしている先生の中に、結構言うてることが納得できるというか、理屈が通ったこと言ってた先生がいて、（移行したばかりで）まだ全然何も知らない状態なんて、いろいろ教えてくれる先生なんですけど、ちょっと



ありがとうございます。

木村 ありがとうございます。

座談会



確かに、私の場合には、劉と春AはBCほどい
なかつた。BCセツトの單位が結構あると思
うんですけど、それが結構忙しくて、春Cの学
期末がやばかった。テストとレポートがいっぱ
い同じ一週間に全部寄つてきたみたいな感じが
あった。でもオンラインでも多かったから時間
の融通は利いたかな。昼間別のこととして夜授業

秋Cめっちゃ暇だよ。移行点に入らないから。線形代数とか特定のコマだけに入るけど、基本



田村　秋めっちゃ暇だよ。移行点に入らないから。





空岡 ええ、そうなんだ。

鈴木 ありがとうございます。続いて、こちらも一年生には難しい質問かなと思うんですけど、総合の一年間で印象に残っていることを一つ挙げていただければと思います。

空岡 先軍方から聞きたいです。

木村 全く関係ないとは思ってんですけど、一年生の二人には注意喚起として言っておきたいなっていうのが、私、秋Cの微積分をとって、その確認テストの日程、間違えちゃったんですね。テストは限だったんだけど、いつもの授業の時間の三限だと思って行ったらもうテスト終わってますよ、みたいな時間帯で。だからいい記憶もあるんですけど、一年生の最後の方、ちょっと悪いことがあって；

田村 印象に残ったんだ。



空岡 テスTの日は間違えないように；

田村 時間が変わったりするからね。

木村 授業の最終回じゃなくてテスト期間でテストやる科目っていうのは結構、変更しがち。時間も場所も。まあ、おふたりは確認しますね。同じ轍を踏まないように。

田村

たしかにね。でも授業のこと言ったら、移行した後に比べたらだ、総合の時はオムニバスの授業がめっちゃ多くて。だから十回あったら十人の先生が喋り来てくれるみたいな感じが多いんだけど、専門科目になると十個全部同じ先生が話すみたいなものが多いから、その点で十人分の話聞けるのは面白かったなって後々思ったりしたかな。同じ人がずっと喋ってくれる方が、特定の領域を深掘りしていく感じには

なるけど、移行前にオムニバスの方が学類選ぶことを考えるとすごく面白かったかな。それぞれの学類の色が十人分出てくるから、それは総合の時しかなかったかな。

空岡 概論系の授業でございませうね。

田村

そうそう。最前線シリーズ（※社会学類開設の専門導入科目）とかって、だいたいその領域の先生たちが自分の研究分野を喋ってくれるから、教科書とかあんまりなくて、スライド資料の授業になりがちなんだよね。専門科目になると教科書に則って、こう、一人の先生がずっと話すみたいな感じになるから、オムニバス系の授業は総合の時に楽しんだ方がいかなっていう気がしますね。概論だと高校の時の内容と重複することあるけど、逆に高校の時にやってこなかったような領域の学類の授業とかは面白いと思う。

私だったら高校は生物とか理系の勉強ばかりしてたから、社会学とか国際系取ると、私でも理解できるけど面白い、みたいな授業あるかな。二年以上になると授業かぶっちゃって、自分の専門科目取らなきゃいけないっちゃうから、一年生のうちに取れるものは取った方がいいかな。

空岡

今で言と、一週間後にやどかり祭があるじゃないですか（※取材五月二十一日）、やどかり祭は一生で出店するところが多いので、クラスの人たちがと聞かれるのはすごく楽しいです。私、今やどかり祭の代表者やって、一との合同クラスなんですよ、それで一類の人とも聞かれるっていうのはいいですね。あと、二類は女子が少なく、私のクラスは十九のクラスで

女子二人しかいないので、一類と合同でやると女の子いっぱいいるし、聞かれるのがすごい楽しくて、思い出になるっていう感じですね。

木村 うちクラス女子二人しかいませんでした。

田村 少ない。理系IIIに入った人たちの方は結構半々でも理系IIIで入るとちょっと男性の方が多いかな。

空岡 三秋くんはどうですか、文系って私は結構女子が多いイメージがあるんだけど、肩身狭い思いしてませんか？

鈴木 そんなこともないですね。うちのクラスは半々くらいだと思います。

空岡 私私のクラスは一類なのに女子が三分の一しかいないって。

田村 秋元「取材」に露していた関係者の一人

ええ、女子少なかった？

空岡 一類の年に女子二人のクラス見たことあります。ええ；

田村 印象に残っていることありますか？

三秋 自転車のペダルが外れて；まあ安い買ったのが一個、原因なんてすよね、思いっきり外れたんで、ちょっとの間、使えなくなっった事件はありました。すぐお店に持って行って直してもらったんですけど、「もうネジがやばいから、次外れたら全部交換しないとダメだね」みたいなこと言われて。

田村 ああ、酷使しすぎた。最初の二、三ヶ月で。

三秋 ちよっと良くなかったです。

空岡 けど、毎日乗りますよね。

鈴木

今、ちよっと自転車の話が出たので、その話を少し。自転車は筑波大から「人権」と呼ばれることもありますけど、普段自転車どこまで行ったりしますか。

三秋

イースパス※バス停、筑波大学中央から自転車まで約二十分、は行きますね。

木村

え、皆さんイースパス、自転車で；めっちゃ速くないですか。

嶋田

宅通からするとそうかしれないね。

田村

電車で行くと遠回りになるんだけど、田んぼの真ん中を突切ると案外近かったりする。

空岡

意外と自転車で十分、十五分ぐらい（※どこからスタートするかによります）。

田村

一の矢学生宿舎からだともう少しかかるよね。

木村

この前車で行ったんですけど、車ですらちよっと速いなと思うのに、よく自転車で行けるなっ

て。

空岡

通学も車ですか。

木村

車です。自転車は使っていないです。使わないで過ごせるんですか。結構同じところ



ですか？受ける授業。

木村

遠いところだと芸専とかまで歩く（※徒歩だと第一エリアから十分強）けど、まあ、歩いて行ける距離だから。

田村

確かに、授業が連続してなければいいから。そうだね、一番遠いのは、万博記念公園までは自転車（※バス停、筑波大学中央から自転車まで約四十分）で行ったことあるけど、結構速かったかな。でもあそこまでかな。

空岡

私は一ノ矢からつくば駅ぐらいですかね。自転車でも十分ぐらいかかる。

田村

暑いね。

空岡

距離そんなに遠くまで行ったことないんですけど

田村

と、自転車で三十分、四十分だったら多分行く気がします。自転車にも慣れてきたので。

嶋田

確かに。高校生の時からしたら、自転車で三十分、四十分なんていうのは考えられないですね。

田村

学園の森あたりとか？

三秋

そっちの方です。そこらいらかなって感じ。

空岡

距離とあんま関係ないんですけど、つくば学生農家ヘルパーというサークルに入って、農家さんのお手伝いに行くサークルなんですよ、それが毎回農家さんところに行くのが自転車

で、前行ったのは天久保三丁目のミニストップ

から自転車

で四十分ぐらいのところにお手伝い

に行くと、帰るときも四十分ぐらいで帰りました。そのサークルだと結構滑りやすいですね。

田村

小一時間滑りやすいと思ったら、確かに。

空岡

ありますよね。

鈴木

ありがとうございます。続いて総合に関する話に少し戻って、皆さんから見た総合生の印象を教えてください。

田村

アクティブな人は多いかなとは思っています。

空岡 アクティブっていうのは、こういう委員会（※この座談会はオープンキャンパス準備委員会の企画として集まってもらっています）に参加するとか？

田村 そうだね。授業でいろんなところ行ってるのもうだけど、専門学類だと最初から建物だいたい決まってるし、その学類の専門導入科目しか受けなかったりするから、そういう意味では、距離より先に科目が先行する。だから専門学類の人だと、ベースになる拠点のエリアがあって、それに近い順に取っていく感じがするから、全然遠くまで行ってる人もいるけど、そこは違うかなって思う。

木村 私、一年生の頃、あんまり人と会う機会がなかったんですよ。オンデマンドが多いっていうのもあるし、授業でも知ってる人とは意外と合わないんですよ。だからちょっと私から総合に対する印象みたいなのはあんまりない、思いつかないっていうのはあります。

田村 一年生は高校の時の友達とかと比べてどう？今、全然違う地域から来てる人もいると思うし、全然違う趣味がある人もいると思うけど。

三牧 文系だけだったより数学とか好きな人多かったりはしました。

三牧 好きです。文系ですけど。

三牧 僕は全然数学が苦手だったんで、受験で数学使わなかったんですけど、でも思ったよりやっぱり数学使ってる人もいたし、数学リテラシーとか取ってる人もいるのって。

空閑 いまですね。一類の人も。

三牧 だから、割と理転する人もいるんじゃないかなとか感じています。

空閑 総合っていうより、高校と大学の違いみたいななるんですけど、空きコマとかを活用して図書館で勉強する人が多いかな。空いてる時間を活用する人は多いのかもしれない。やっぱり勉強しないといけないし、もちろん、高校の時に一緒にあんまりやらない人もいるんですけど。

田村 確かに、空きコマを活用して勉強するのは総合らしさかもしれないよね。点数が頭の片端にはあるから。

空閑 移行するために必要だからみたいな考えの人が多いのかな。

鈴木 ありがとうございます。続いて移行生のお二人に、総合時代の友人関係が今も続いているか、あと移行先で友達できるか、をお聞かせいただけますか。

木村 会えば挨拶ぐらいはするし、なんか疎遠まではいかないんだけど、頻繁に会うっていうのもなくて、っていうのが総合の友達の移行後の関係みたいな。もともとあんまり私アクティブじゃないから人との接点は少ないんだけど、移行後の友達できるか問題については、まあ、できるんじゃないですか？

田村 推測みたいになっちゃった(笑)。

空閑 移行先が同じ人とは、最初一緒に行動したりしますか？

木村 そんなこと...

田村 あ、なさそう。まあ、人によりけり。



その感じでずっと仲良かったりもする。あとは総合でいろんな授業を受けて、もともと別の専門学類の人、その移行先に限らず、専門学類の人とはまだ仲いいことはあるかな。いろんな授業を受けに行ってる、いろんな学類生と会うから、私はそこで出会った友達の方が多いかな。総合出身の人より移行先と関係ない、別の学類の人と仲良かったりする。移行した後の移行先の学類生とも全然仲いいし、特に生物学類だと実験とかずっと同じメンバーでこもるから必然的に喋るし、仲が良くなっていく感じはする。

木村 実験とか実習とか仲良くなったりはしますね。特に理系は、なんてすけども、移行後で仲良くなる接点っていうのが、例えば言ってくれたような感じで、

田村 私は移行前の総合の友達はあんまり。もう場所がみんなバラバラだから。でも総合出身の同じ移行先の人とは、割と仲はいいかな。総合の時は顔見知りぐらいだったけど、移行先一緒になっ

て、最初履修組むとは一緒にやったりするし、

うに、実験とか、社工だとフィールドワークとか。一応習が多い学類だから、それで仲良くなるっていうケースも多いと思う。

田村 そうだな。

木村 文系は私わかんないんでね。

田村 文系は文系にじゃないけど、文系どうですか？

田村 全然サークルの方が多いね。やっぱりサークルや学生団体とかの方が友達になりやすいんじゃないかなって。それこそ学園祭実行委員とか。そういう方面の友達が多いかな。

田村 結局は生同士喋らないと、仲良くなれないから、サークルとかもそうだし、実習もそうだけど、会話がある場面が一番友達できるかな。

田村 となるとやっぱりサークルかな、みたいな。

田村 学類はあんまりない？

田村 結局比文だとその中でまたコースが分かれていて、そのコースの数もすごく多いから、ゼミとかになっちゃうと、そういう喋る機会が出てくるから仲良くしてる感もあるんだけど、それ以外では全然喋る機会がないっていう感じなんだよね。

田村 だそうす。

三牧 なるほど。

鈴木 ありがとうございます。時間も結構迫ってきたので、これが最後のテーマになるのかなと思います。皆さん出身がいろいろだと思うんですけど、

ど、つくばは都会だと思いますか？田舎だと思いますか？あとそれに関連して、宿舍とかアパートとか、住んでるところの話とかも含めて教えてください。

田村 ちなみに都会だと思ってる人、拳手、個人の主観で構いません。

田村 (※三牧、木村、田村の三人が拳手。)

田村 私が住んでたところは都会。

田村 三牧くん、木村くんもそうだね。逆に田舎だと思ってる人。空閑さんはそうだよ。出身の違いですね。

空閑 東京の市の方の出身なんですけど、結構お店と駅が近いっていうのと、電車ですぐに新宿とか池袋とかに行けるみたいな。そういうところはお店ものすごい多いので、そういうところで比べちゃうと、田舎かな。

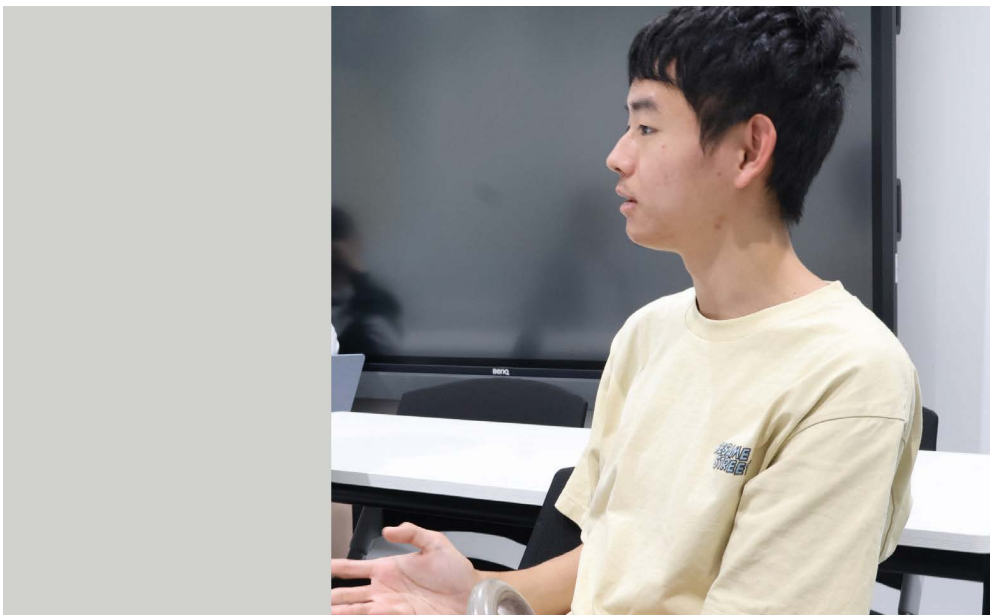
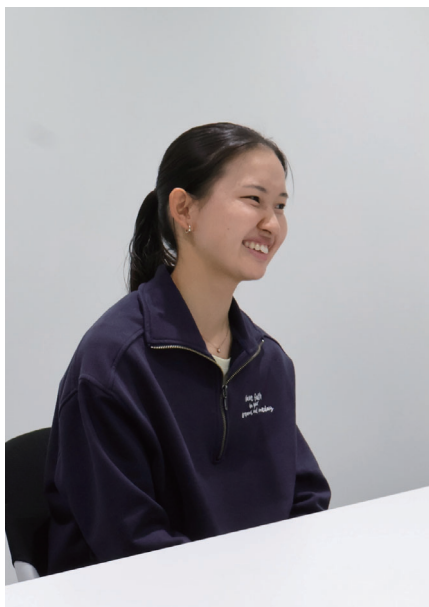
田村 電車が一本しか通ってないじゃん、つくばって。一駅歩くとかできないし。確かにちょっと距離がね。時間的な距離は短いかもしれないけど。

田村 私は告知の方に住んでたんだけど、名古屋駅行くところもすごく長い数の路線で地下鉄がガラッと通ってるのに、つくばは私鉄一本で、しかも終着点っていう。

田村 ほは迷わない(笑)。

空閑 人が少ないって思いますね。駅前とか十九時

まじか。逆にめっちゃ多いって思いました。地元は昼間でも人歩いてないから。歩いてる人





がいると、「誰この人」って不審に思っちゃうくらい人少ないんで。

嶋田 すごい差が出るところだね。他につくば駅に關して何があった人いる？

田村 駅を取り上げるなら、私の地元よりは都会かなって感じる。出身が歌山だから、マジで木がめっちゃ倒れるから、すぐ電車、止まって。だいたい風吹いたら木が倒れて遅れるし、もともとデフォルトで三十分に一本が最頻で、夜とか一時間半に一本とかしか来ないから、結構車社会って感じはしたけど、それに比べたらつくばは都内に出ることはできるから、一日用急なとめっちゃ色んなことできると思う。でもあんまりつくばエクスプレスをバスパン往復する風気はないかな。あんまり安くないし、まあ都内にアクセスできるのはいい気がする。

嶋田 他、田舎一人…めんごめん、嫌な言い方した！都会に思う人！

木村 ああ、大丈夫ですよ。私んと田舎なので。

嶋田 どこ出身なの？

木村 茨城県の南の方です。

嶋田 筑波まではどれぐらいで通学してるんですか。

木村 車で片道十分ぐらい。

空岡 車で五十分だと結構な距離になりますね。

田村 渋滞に引っかかったら大変そうだなーっと思っ

た。

木村 でも、渋滞引っかかってても一時間ちょっとぐらいで行きますよ。

嶋田 それもあって、学校来てる？「渋滞するかも」とか。

木村 まあ、一応。

田村 確かに、宅通だと「ちょっと早めに行く」とかがあるけどアパート、宿舍組はギリギリだよな。近いからね。

嶋田 三枚くは？

三枚 僕は出身が千葉で、さっきの話を聞いている感じ、確かにつくばが都会より田舎である条件は大部分そろってたんですけど、僕が住んでいたのが市の真ん中じゃなかったんで、それで言うところ、これはだいたい市政が揃ってるなって思っ。バスは多いし。

嶋田 バスはめちゃくちゃあるよね。「つくばセンター」というバスターミナルがあるぐらいだもんね。

三枚 だから一つの街として見た時に、すごくアクセスしやすいところにいるなっていう。反対に都会に出るとか、もっと東京とかに行くってなったら、やっぱりめんどくさい。

田村 確かに、市内を走る分にはいいよね。でもお店とかはやっぱり自転車で行くよね。バスじゃなくて。

嶋田 わざわざお店行くために交通費が発生しちゃうのはだいぶ苦しい。自転車で行けるなら行っちゃおうみたいな感じになるよね。

さっき車の話が出たけど、私は名古屋出身だから「つくばは田舎だ」っていうふうには思っちゃって、最近、車が欲しいのよ。「つくばは都会か、田舎か」に聞かして、「車欲しいと思うからないか」を聞きたい。通学に使ってる人は抜かして、車持てるなら持たないなって思っ人はいらる？

田村 私も持ってる。使ってるけど全然便利。

空岡 どこ行くんですか。

田村 どこ行くのでも、つくばって車道が広いせいで、影がないから夏めっちゃ暑いよ。自転車だと田んぼの真ん中とか行くって確かに近いんだけど、暑くて。あと荷物の運ぶ量が限られるから、そういう時は車使っかな。普段はあんまり。自転車じゃないと学内の移動はできないから。

嶋田 涼くんは持ってるけど、やっぱり時間、通学以外とかってあった？

木村 通学以外はどうだろう、車を持った一番の理由がやっぱり通学なので、それを取っちゃうと他になんかあるのかなって。あんまり車で出かけたらないの。

空岡 そうなんですか。

木村 お金の話をするならば、絶対車の方が私の場合は安い。

嶋田 （鈴木、めっちゃ顔く）めっちゃ刺さってる（笑）。

鈴木 確かにな。半年で定期が十万超えるのキツくないですか。

田村 ええ、どこから通ってるの？

鈴木 埼玉からなんです。群馬に近い方の。

田村 なるほどね。



のは全然いいですね。

三枚 確かにっていい感じですね。

鈴木 ありがとうございます。以上で座談会のインタビューを終わりたいと思います。



嶋田 私は車欲しいから、「いや、筑波は田舎なんで自転車じゃ足りません。欲しいです。」って下宿に住んでいるのに親に交渉してる最中で。ちなみに一年生はどう思った？

空岡 つくばの夏を経験してないので、まだわかんないんですけど、でもスーパーとか全然自転車で行けるので、今のところは困ってないし、いいかな。一応免許を取る予定なんですけど、自家用車そんなに使わないと思うんで、自転車でお店行けるなら全然自転車でもいいかなって思ってます。

木村 あまり車使わないなら持たない方がいいですね。持ってるだけであの…

田村 年に飛んでいく額が。

木村 車検で十万とか飛ぶし、二年に一回でしたっけ。で、半年点検もしないといけないから、それで五万ぐらい飛んで。

田村 点検費と、交換する部品代がね。

嶋田 三枚くんはどう思う？

三枚 車に対する憧れはあるんで、やっぱり持たいたいなと思うんです。ただたまにバス乗るんですよ。そこにつくば市内の道見ると、めっちゃ混雑印象あって。だから大学内で使ってるのは難しいかなって。外出かける時のために持つのはいいなと思うんですけど、そうだったらやっぱり買っんじゃなくて、レンタカーとかでいいんじゃないかな。

嶋田 つくば、カーシェア使う人多いです。それ使う

各大学・学部はアドミッション・ポリシーがあり、これを言い換えれば「その大学・学部が求める人材とはどのようなものか」を示すものである。筑波大学総合学域群のアドミッションポリシーは以下のものとなっている（執筆時点で公表されている中で最新のものを）。

後の成績や適性に基づく各学類・専門学科の受入順から二年生によって決定する。大まかに言えば、二年生での成績によって所屬する学類・専門学科が決まる。制度です。総合生は一年間自分の興味関心と向き合い、視野を広げつつも

後の成績や適性に基づく各学類・専門学群の受入順位の二つによって決定します。大まかに言えば、「一年生での成績によって所属する学類・専門学群が決まる」制度です。総合生は一年間自分の興味関心と向き合い、視野を広げつつも

・知的好奇心と学習意欲にあふれた人物
・求めていると学習意欲にあふれた人物
・高等生までの基礎学力をまんべんなく身につけていること
・大学での学習びで知的好奇心を深めていくために、柔軟な知性と感性を備えていることが求められるといふこと
・このような学生を求めらるゝのは、「移行」と呼ばれる進路（進路別に分け）制度があること
・起因します。総合学域群生（総合生は二年間の学びの後、年度末の「移行」を経て次年度から各学部、専門学群に移入します。）の学部、専門学群に移行するは、本人の志望と、入学後の成績や適性に基づく各学域・専門学群の受入順位、二つによって決定します。大まかに言えば、二つの成績によって所属する学域・専門学群が決まる「制度」です。総合生は、年間自分の興味関心と向き合い、視野を広げつつも

移行を経て毎年多くの組合生が第一・二・三希望型、専門学群に移行して行き、専修を返す。第二希望型以下の組合生、専門学群に移行した学生も、学定数いるというところになった。学生も学定数いるということになった。学びたい専門がはっきりしており、学びたい学群が一つに絞られている方としては、第一希望型ではない学群、専門学群に移行してしまふ可能性があり、リスクになり得る。一方で、何を学びたいのかははっきりしていない方、学びたい専門を一つに絞って切れない方、大学の学びがどのようなものか、よくわからない方という方には、非常な意義のある一年間になるでしょう。アドミティンクポリシーは、やや難解な文章でしたが、かかるとこのように組合生が総合学群には向いていないと考えることができます。

すが、この十六名を選抜区分「理系Ⅲ」で入学した。この中から優先し「受け入れ」をされた。そして、残りの六人は選抜区分「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」で入学した学生と、優先受入枠で行って来た「理系Ⅲ」の学生から受け入れられた。優先受入枠のない選抜区分からは移行できる枠が少なくて段階において受科目の違いは大きな差を生じているから、それを基準に選抜区分を選んだとしても必しも問題であるわけではりません。しかし、優先区分によってよく知らないかもしれませんが、自分の移行した、学類の枠が少なく、苦学する機会があることも多々あります。特に選抜区分を希望する学生にも多量です。選抜区分に迷っている方は、優先受入についても視野に入れた検討してみたいです。

受け入れには募集人数をもとにしたものです。学者数の優先枠が定員に満たないなどの理由

科目」と「優先区分」と呼ばれるものです。受験の際、その科目が必要となるのかについては、多くの大学が受験要項等で確認することができます。一方で、よく知られているように、浪波大学の大学入試情報サイエンスでは、この「優先区分」を設けていません。これは、浪波大学の大学入試情報サイエンスは、他の大学と異なり、学部・学科・専攻・コースでなく、単に「サイエンス」で入学することになります。また、浪波大学の大学入試情報サイエンスには、文系科目も含まれており、理系科目だけでなく文系科目も必要とする場合があります。

例えば、図のように情報科学類には総合学域から二十二名の学生が移行することができま

こうして、移行制度について深掘りしていただくと思います。『アドバンスド・シラバス』と移行行っても無れた通り、移行制度があるからといって、必ず第一志望に移行できるように保証は必要ありません。なぜなら、学額ごとに行き先が異なる人数には限りがあるからです。そして、この学額をどの学の学額に配属するかはほとんど成績で決まるとの考えです。そう考えると、「良い成績を残さなきゃいけないなら、総合学域群で結構。学額を減らさないかな?」と移行するよね、ここからは「よくてざくくりと紹介しよう」と思っています。ここでその説明を一通じて、「どのくらい大変なのか」を体験してもらってと嬉しいのです。今回は社会学類以下、社工を例に挙げます。右下の表は二〇二六年度入学者の総合生が用いて

		選抜区分 募集人員	文系 125名	理系 145名	体育系 49名	推薦枠 84名
学部	学科	2年次受入定員*	2年次優先受入人数			
文芸学部	人文文化学科	30名	◎ (25/3)	○	○	○
	比較文化学科	20名	◎ (17/3)	○	○	○
	日本語・日本文化学科	10名	◎ (8/2)	○	○	○
	社会学科	20名	◎ (16/4)	○	○	○
経済学部	国際総合学科	20名	○	○	○	○
	教育学科	4名	○	○	○	○
	心理学科	6名	○	○	○	○
	経営科学科	4名	○	○	○	○
農学部	生物学科	20名	○	◎ (15/1)	○	○
	生物資源学科	23名	○	◎ (15/1)	○	○
	地球学科	13名	○	◎ (8/3)	◎ (2/1)	○
工学部	数学科	10名	○	◎ (8/2)	○	◎ (1/4)
	物理学科	15名	○	◎ (10/2)	○	○
	化学科	13名	○	◎ (10/3)	○	○
	応用理工学科	30名	○	◎ (27/3)	○	○
	工学システム学科	35名	○	◎ (30/4)	○	○
	社会工学科	30名	○	◎ (15/3)	○	○
情報学部	情報科学科	22名	○	○	○	◎ (16/6)
	情報メディア創成学科	16名	○	○	○	◎ (12/6)
	知識情報・図書館学科	40名	◎ (7/3)	○	○	◎ (23/8)
医学部	医学科	5名	○	○	○	○
	看護学科	2名	◎ (1/1)	○	○	○
	医療科学科	10名	○	○	◎ (6/3)	○
芸術専門学科		5名	○	○	○	○
体育専門学科		受け入れはありません。				
学部デザイン・デザイン専門学科		受け入れはありません。				
合計		403名	※2年次受入人数は募集人員をベースに示したものです。実際の受入人数は、入学希望などにより異なります。			

例えば、いくら文系科目の点数が良くとも

理系科目が全く修得できない場合には、社会工
学に移行することによって応募要件を満たすこと
は可能かもしれません。移行後の学部・学科に進め
るためにも、受験によって求められる人材は変
わるたにとも、受験によって求める方法
があります。そのため、受入順位を決定する方
法「**受入順位決定方法は**」は受験の特性に含ませても
の点についてです。「重み」「重点科目上計算数値
」「成績点算入上単位数」となどの成績点を限
りかかわる基準がその典型的な例です。

※重み…成績点の計算において、スコアを何倍にして

学行区分	応募要件	応募要件・重点科目の対象科目	単位 満点 ^{※1}	重点科目 上履修単位数	成績優秀者 上履修単位数	入学試験決定に際しては 成績優秀者に限る (TOEFL・JPT)
社会工學類	10 単位 から 2 単位 まで	数学I(ラテラー1)	1			
		数学I(ラテラー2)	1			
		情報分1	1	2単位 まで		
		情報分2	1			
		情報分3(情報科学)	2			
		情報分4	1			
		経済代範1	1			
		経済代範2	1			
		経済代範3(経済学)	1	2単位 まで	3 単位 まで	
		経済代範4	1			
		経済学の概論	1			
		経済学の発展	1			
		会計と経営	1			
		社会と発達化	1			
		都市計画入門	1			
		総合地理	1			

※1 重み1.0の上限を超過した単位は重み0.1となります。

計算するものの指標。重点科目は「一〇・二〇、その他」の科目の「一〇」となっている。どの科目にも重点「一〇・二〇」を決定する。「均等配点形式」を利用する支額（移行区）もある。

※重点科目上限単位数：成績点に算入して重点科目目の上限数。上限を越えてして算入される重点科目は、ほかの科目と同様単位の「として算入」される。

※成績点算入上限単位数：一年間、修得した単位のうち、成績点に算入される単位の数。社工の組合二四八単位、重慶の多い科目から、評価の高い順に算入される。

※のとこのまてを踏まえて、重点科目の百分位は次のとおりである。

①のため、重点×三単位×重み①の百分位科目は合計三百点。成績計算上限単位数：曰く、重点点目を入れて二十四単位の成績が見られるため、三単位を除いた科目は合計二百×重み①で、重点点目を除いた科目は合計二十点。それに加えて実施される「○○」の点数を圧縮した。もう一点、点五百六十点で受入順位は決定されます。もちろん、点数が高ければ高いほど、移行の可能性が高くなります。

以上が社工の移行点の計算方法になります。もちろん、高成績点を取らなければならないものことも大変ですが、応募要件や重点科目の具合合いを見て、履修科目を選択するのは最も大変の一つです。組合生は、移行先を検討したり、応募要件を満たすように履修を組んだりするなど、考えることが多くあります。一方で学歴生は卒業要件のみを考えれば良く、移行のために高得点を目標する必要はありません。この差にも多少なりとも気づかなくてはなりません。

かとして、以上の計算は慣れればこちらの
もので、最初は大変なだ、と言われればそう
でもあります。そのための「学側のサポートも
充実している」ということでもありました。実
践しているということでもありました。一般教
育的な科目だけでなく、幅広い、様々な学
科を学ぶことでは、絶大なメリットのある
一つです。この事は「移行年度の実施を」理
解する上では、総合系の学生の特色を「イ
ジー」ための執筆したもので、それが少
しでも伝わったなら十分です。実施を完
全に理解するのは、入学後から十分です。ちな
みに、他学類の「受入順位決定方法」もホ
ムページ上で公開されています。https://www.sushika
do.edu/cademy/ug-course/index.html（参
照）部分にあるPDFを覗いてみてください。



総合学域群をもっと深く

移行アルゴリズム

総合学域群が採用している移行アルゴリズムのおおもとには「Dメカニズム」という理論、かなり複雑な構造になっています。なぜ、このような複雑な理論を採用するかといえば、このDメカニズムは最大の特徴である強い「耐戦略性」を持つからです。ここで、「一例を挙げて説明します。

例えば、テーブルに「ケーキ、プリン、ワッフルが一つずつあり、三人（甲乙丙）の兄弟で分け

るとします。このとき「齊に希望を出して他の人と被らなければスイーツを獲得、他の人と被ればじゃんけんして決める」というルールのもと決めてみます。ケーキ、プリン、ワッフルの順に人決めであるとき甲さんの立場で考えてみましょう。ケーキを選べば、確実に取り合いになります。なので教えてプリンを選ぶことで一人勝ちすればケーキは獲得できないがワッフルを取るよりはましであると考えられるでしょう。けれども同じことを乙さん、丙さんも考えていればどうでしょうか、どうすれば、自分が得をするか、それを一生懸命考えなければならなりません。この兄弟とスイーツの組を作ることをマッチングといいますが、このマッチングは「戦略性」を持つといえます。

一般に「戦略性」のあるマッチングでは、他の人の出方を読み、自分自身が得するように目指し選択します。そのため自分の本心に反して選択することはいわねことが多くなります。「戦略性」を持つマッチングとは、戦略的に自身の選択を決定すること自身が得をする可能性があり、これは虚偽の申告を含みます。

しかし、Dメカニズムは「戦略性」を持たないマッチングです。つまり、虚偽の申告を含み戦略的に自身の選択を決定すること自身が得をするということがないということであり、裏を返せば、最も得する選択は自身の希望通りに申告することです。この性質を「耐戦略性」と言います。結論は以上です。ですが、そもそも移行メカニズムの基礎となる「Dメカニズム」とは何か、そしてこのメカニズムが「耐戦略性」たる所以が気になります。

「Dメカニズム」は英名で Deferred Acceptance Mechanism であり、受入留保メカニズムとも言われます。こちらの方が一般的かもしれません、このメカニズムを体験してもらおう

次に提出する希望順位をいじってみます。

【学生】	学生1	学生2	学生3	学生4	学生5	学生6
第1志望	工	数	工	化	業	医
第2志望	数	化	工	業	医	化
第3志望	物	数	業	物	化	工
第4志望	化	物	数	医	工	業
第5志望	業	医	物	数	業	医
第6志望						

	工	数	物	化	業	医
1回目	1	2		4	3	5
	P:1	P:1		P:4	P:3	P:5
2回目					5	6
					P:5	P:6
3回目				5		
				P:4		
4回目			5			
			P:5			
結果	1	2	5	4	6	3

希望順位は学生二、三、四のみを、希望度と確実性をもとにできる限り得をするよう変更しました。しかし、結果からみれば二つの場合でほとんど同じですよ、これが例えば早い者勝ちで挑戦回数があれば変わっていったでしょう。それに加え、今回は大学と学生ともに情報が開示された状態でありましたが現にこのような状況はつたにないです。

整理した情報とともに受け入れ順位、希望順位を再掲します。色が違っているマスがマッチングしたマスです。

【大学】	工	数	物	化	業	医
第1志望	6	1	5	4	1	3
第2志望	1	3	5	4	6	5
第3志望	4	6	2	3		
第4志望	3	2	1	5	5	4
第5志望	2	4	4	1	2	
第6志望	5	5	2	3		

【学生】	学生1	学生2	学生3	学生4	学生5	学生6
第1志望	工	工	工	医	医	医
第2志望	数	化	業	化	業	化
第3志望	物	数	医	物	物	化
第4志望	化	物	化	業	物	工
第5志望	業	業	数	医	工	
第6志望	医	医	物	数	数	

さて、この「Dメカニズム」では、素直に希望を提出することが最適と申し上げました。このメカニズムにおいて、素直になることが最適な理由が早く枠を獲得するメリットがない、かつ後から挑戦するリスクがないためです。簡単にいえば、早い者勝ち勝負ではないということ。つまり、先に枠を取られたとしても後から取り戻すことが可能ということ。

「Dメカニズム」において素直に希望を提出すること獲得可能な学部のうち最も希望の高い順位に配属されるのです。先ほどの例と別に例えば学生一が「工学部」のみが点数不足により配属できないパターンがあるとするなら、他の学部の中で最も希望が高い「教育学部」に必ず配属されます。

「Dメカニズム」が使用されているマッチング（移行アルゴリズム）においても得はついて、自身に対して損はあっても得はないです。また、前提としてわざわざ自分の人生をチャップに他の学生を望とそうという非合理的な行為はしない、というよりする必要がないと思ひます。その行為は自分にとっても相手にとっても利益にならないのです。そのため、このメカニ

と思います。インターネットでは結婚が多く取り扱われますが、比較的馴染みのある大学入試を例にします。単純なモデル（設定を以下のように定義します。

（一）某大学は六つの学部でそれぞれ定員一人を募集しているのに対して、対象となる学生は六人である。ただし、各学部は定員を越えて学生を受け入れることはない。某大学の学部には「工学部」「数学部」「物理学部」「化学部」「薬学部」「医学部」があり、課す科目等により受け入れられる学生の種類が異なる。当然にしてそれぞれの学生は得枠科目や志望学部が異なる。

（二）大学側は学生の科目点数により学生の受け入れ順位を作成する。また、各学生は虚偽を含む六学部の志望順位を大学側に提出する。ただし、受け入れ順位と志望順位を作成する際に科目不足による足切りや学生の意思による空欄を認める。

（三）（二）により大学側の受け入れ順位と、事前に調査した真の学生の志望順位が次のようになり、真の希望順位で処理をした。

【大学】	工	数	物	化	業	医
第1位	6	1	5	4	1	3
第2位	1	3	3	6	6	6
第3位	4	6	6	2	3	5
第4位	3	2	1	5	5	4
第5位	2	4	4	1	2	
第6位	5	5	2	3		

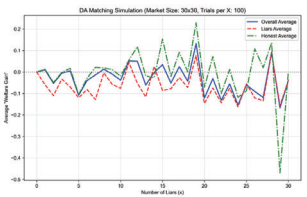
【学生】	学生1	学生2	学生3	学生4	学生5	学生6
第1志望	工	工	工	医	医	医
第2志望	数	化	業	化	業	業
第3志望	物	数	医	物	化	化
第4志望	化	物	化	業	物	工
第5志望	業	業	数	医	工	数
第6志望	医	医	物	数		

スにおいて重要なことは素直に希望を提出すれば、みんな良い思いをするということ。さらに言えば、ある程度嘘つきがいてもそれほど深刻な状況にならないのもDメカニズムの特徴です。これについてはある検証をいたしました。

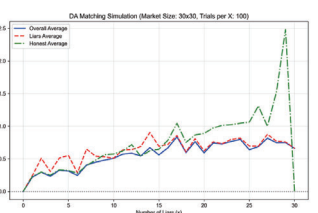
Dメカニズムで三十人の学生と三十個の学部を、封一にマッチングさせることを考えます。ここで学生のうちX人が虚偽の申告をするとして、各Xに対する得を調べます。虚偽の申告では真の希望順位において第一希望と第二希望の学部を入れ替えています。また、得というのは、素直に申告したときのマッチングした希望順位から虚偽の申告をしたときのマッチングした希望順位を引いた数です。例えば、素直に申告をして第二希望とマッチング、虚偽の申告をして第四志望とマッチングしたときの得はマイナス二になります。さらに、各Xにおいてマッチングを一回いその得の平均と標準偏差を算出します。

この試行を1000回でプログラムを組むグラフを作成したものが左の図です。

総じて見れば、嘘つきが増えてもマッチング全体に大きな影響を与えていないことがわかります。



また、標準偏差も小さいので得のばらつきはあまりないことがわかります。右側の緑線が大きく変化しているのは母数が少ないためこれについては無視してもらって問題ないです。これけれどもそれは自分が嘘をついたことにより自分が得がないということに限られます。つまり誰かが嘘をつくことによって嘘をつくかどうかに関わらず得をする人はいないということです。これらのことを考慮してDメカニズムの特性が如実に数字として現れています。最後にありますが、このメカニズムはマッチング理論というカテゴリーに入り、特に社会工学類で勉強します。ほかにも四人バドミントンやプロスポーツ理論といった行動経済学など面白い学問も学べます。これを機に、受験勉強とは別に色々調べてみて面白いものにたくさん触れるのも有意義だと思います。



※マッチングおよびグラフを作成するプログラムは生成AI(Gemini)によって作成しています。なお十分な精度は行っています。

（四）志望順位の提出後、大学は次の操作により学生の配属を決める。

（一）はじめ、学生が提出した、志望順位の第一志望へ各学生を配属させる。配属先が他の学生と被らなければ「仮合格」を与え、被った場合は大学側の受け入れ順位が最も高い学生に「仮合格」を与える。ただし「仮合格」の撤回や空欄などの原因によりどの学部にも配属できないとき、その学生に架空学部の「仮合格」を与える。これは（二）も同様である。

（二）次に、「仮合格」を持っていない学生の途中で次に志望順位の高い学部配属させる。すでに配属が決まった学生を含み、配属先が被らなければ「仮合格」を与え、被った場合は大学側の受け入れ順位が最も高い学生に「仮合格」を与える。なお、先に「仮合格」を与えられた学生が他の学生に「仮合格」を与えられた場合、前者の学生の「仮合格」は撤回される。また、「仮合格」を持っていない生徒がいなければ、操作は終了であり、そうであれば、全員が「仮合格」となるまでこの操作を行う。

（三）全員が「仮合格」を与えられたとき、「合格」となり正式に配属が決定する。

はじめ、真の希望順位で処理をした。

	工	数	物	化	業	医
1回目	1 2 3 4					5 6
	P:1					P:6
2回目	F:2 3 4				3 5	P:5
				2 4	P:3	
				P:2	P:5	
3回目		2		5		
		P:2		P:4		
		F:		F:5		
4回目			5			
			P:5			
結果	1	2	5	4	3	6

※ P は仮合格、F は不合格である。

気になる！

受験のあれこれ

ここでは筑波大学を受験するにあたって、先輩たちが取り組んだ勉強法の一例を紹介します！筑波大学の受験を考えている皆さんに役に立つ情報が盛りだくさんですので、ぜひご覧ください。なお、筆者は総合選抜文系で、英語、国語、世界史を受験しました。

総合学域群に合格した先輩たちはどうやって受験を乗り越えたのか疑問に思っている高校生の皆さんもいらっしゃるでしょう。そこで、例として筆者の受験までの流れを軽くまとめようと思います。ただし、筆者の場合、十一月末に筑波大学の他学域の推薦入試を受験した他、九月中旬まで部活動を行っていたため、かなり特殊な場合になります。あくまでも参考までに。

まず、高校二年生が終わるまでに定期テストや模試を利用して自分の学力を伸ばしつつ志望校を絞り込んでいきました。興味のある分野が複数あり志望校を悩んでいたため、筆者が筑波大学を受験することになったのは高校三年生の春です。高校三年生になってからは模試を利用して自身の弱点を把握して重点的に対策していたほか、二次試験で利用する可能性のある英語や国語・世界史・苦手な数学の補強をしていきました。夏にはオープンキャンパスを活用して志望校を筑波大学に最終決定し、受験科目を決めました。そして一年分だけ二次試験の過去問を解いてみて難易度や傾向、自分に不足している力を把握するのに役立てました。また、推薦入試の対策を本格的に始めたのも三年の八月くらいです。

そして、九月中旬で部活動を引退した後にやっと受験勉強に全力投球できるようになりました。そこから、推薦入試対策と並行して共通テスト

へ向けての各科目の基礎知識の補完をしていました。また、この時点で二次試験にて使用することが決定していた科目（英語、世界史）に重点を置いて勉強を始めました。十一月末の推薦入試が終了したのち、共通テスト対策を本格的に始めたほか、二次試験の過去問をすくすく解いて記述形式に慣れていきました。英語なら単語や文法など、世界史なら出来事や歴史の流れ、人物名などの共通テストで問われる基礎的な知識をしっかりとっておくことで、二次試験でも通用する力を身につけられました。二次試験で使った科目も苦手な箇所を中心に共通テスト形式の演習を行っていました。共通テストまで二週間くらいは間はすべての時間を共通テスト対策に費やし、共通テストが終わってからは筑波大学の過去問をひたすら解いていました。共通テストの自己採点の結果を受けて、当初出願を予定していた学域から総合選抜文系へ出願先を変更したことで国語が新たに二次試験で必要になりましたが、英語や世界史を共通テストの同じ重点的に対策していたおかげで、なんとか乗り切ることができました。

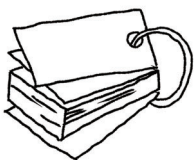
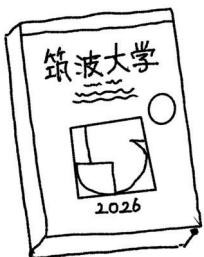
ここまで筆者の体験を述べましたが、いかがだったでしょうか。私自身は総合選抜文系を受験した人の中では特殊ですので、何度とも言いますがあくまでも参考にして、皆さんの状況に合わせて受験を乗り越えてほしいです。特に、自分学力に不安がある方は高校三年生のうちから入試を見据えて勉強を進めていくと良いと思います。また、筆者のように部活動が忙しい方も、高校二年生までに定期テストや模試を利用して学力を積み上げておくとか高校三年生になってからも余裕を持って受験勉強に取り組めると思います。

共通テストの対策についても少し述べておきたいと思います。筆者は共通テストで出題される問題を解くにあたって基礎的な知識の積み重ねが大切だと考えています。そのため、苦手な科目・分野・単元などがあれば、それを重点的に対策していくと良いと思います。さらに、大学や学群・学類によって圧縮の方法や各科目の配点が異なります（傾斜配点）。そのため、配点の高い科目を重点的に対策するのも一つの手でしょう。詳しくは大学のホームページなどを参考にしてください。例として総合選抜文系の配点（二〇二六年度入試）を掲載しておきます。皆さんが受験する年度の配点は変更の可能性があるので、自身で確認してください。

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報 配点 合計
共通テスト	200	200		200	100	200	950
個別学力検査等	500	*500	*500	*500		500	1500
計	700	200		200 *500	100	700	2450
		*500	*500				

ここには詳しく書かれていないのですが、外国語で英語を選択した場合、リーディングとリスニングを受験することになります。実は筑波大学では両者の配点をそれぞれそのまま百点満点で換算するのではなく、リーディングの点数を一六倍（百六十点満点）、リスニングの点数を二四倍（四百点満点）にして両者の合計で二百点満点として換算します。また、二〇二五年度入試から追加された情報も、負担軽減策として二〇二七年度入試では受験生全員に一律に二十五点与え、受験生の得点を七十五％に圧縮して七十五点満点に換算した後に、両者を合計して百点満点に換算します。さらに圧縮し五十点満点となるように計算するようです。なお、二〇二八年度入試からは負担軽減策はなくなり、実際の得点がそのまま換算されます。さらに、共通テストの理科・社会には、第一解答科目と第二解答科目があります。これは大学によって二科目のうち得点が高かった科目の方を採用してくれることもあれば、第一解答科目のみを採用するところもあります。ですので、第一解答科目には得意な科目を選択することをおすすめします。

また、筆者の友人（総合選抜文系を受験）は先に二次試験の論述の勉強から始めることをおすすめしていました。論述はある程度慣れが必要であるためです。同時に共通テスト対策を通じて知識の補完をし、十二月くらいから共通テストに全振りしたという話を聞きました。ぜひ参考にしてください！



志望校 選びに ついて

ここまで受験までの過ごし方や当日の様子などをご紹介しましたが、いかがだったでしょうか？少しでも受験への不安が和らげば幸いです。とはいえ、このパンフレットを読んでくださっている皆さんの中には、まだまだ志望校や研究したい分野が決まらない方もたくさんいらっしゃると思います。そこで、コラムとして筆者が志望校を選択する際に重視したことを書き残しておきます。

筆者は高校の時の学習の中で興味のある分野を探していました。最初は「文系の何か」というざっくりしたものしか決まっていなかったのですが、総合的な探究の時間なども活用して具体的な分野まで絞り込んでいきました。「何に興味があるか」ということだけでなく、「その学問分野で研究していくことが苦痛にならないか」、「その学問分野の研究が強いのはこの大学のどの学部か」という視点からも検討していました。それでも迷いに迷って調べていく中で出会ったのが筑波大学の総合学域群でした。総合学域群についてざっくり説明しておくと、入学の時点で専攻を決めず、一年次に興味関心に合わせて自由に学習をして二年次に希望の各学類・専門学群（体育専門学群、学際サイエンス・デザイン専門学群を除く）へ移行するというシステムを採用している学群になります。つまり、筆者のように「色々な分野に興味があって研究分野が定まらない！」と悩んでいる方にぴったりなわけです。詳しいシステムは他の記事で紹介していますので、ぜひご一読ください。さて、筆者は総合学域群を知ってから、何度か筑波大学や他の大学の気になる学部のオープンキャンパスに足を運び、高三の春に研究したい分野は一応、決めました。その時点では研究したい分野を一つに決めていたため、当時は総合学域群を志望先として考えておらず、筑波大学の他の学類が第一志望でした（その後、その学類の推

薦入試が不合格だったこと、まだ自分の中に研究分野について迷いがあるのに気づいたことなども相まって最終的には総合選抜文系を受験しました）。なお、入学したい学類がはっきり決まっている方は総合選抜を受験するのではなく、各学類や専門学群を受験することをおすすめします。なぜなら、総合学域群から各学類・専門学群に移行する際には大学での成績が参照されるからです（様々なサポートが得られるので、総合選抜を受験しようとしている方は心配しすぎないでください）。移行先の決定について、詳しくは割愛しますが、研究したい分野が選びきれない方にとってはとてもありがたいシステムだと思います。また、なんと言っても、総合学域群の最大の魅力はほぼ制限なく全ての学類や専門学群の授業を履修できることです。筆者自身も一年次のころは様々な分野の授業を履修しました。このシステムが筆者に合っていたらしく、意欲的に学習に取り組むことができたほか、入学前はあまり目に留まっていなかった学問分野にも触れることができたため興味・関心が広がりました。

少し話が脱線してしまいましたが、筆者の体験談はこんな感じです。志望校選びで迷っている皆さん、ぜひ筑波大学の総合選抜を視野に入れてみてください！



本記事では受験当日へ向けて準備すべきことや当日の流れについて説明します。
主に筆者の体験談にはなりますが、参考になれば幸いです。

□ホテルの予約時期・選び方

筑波大学へ受験するにあたって、遠方から来ている受験生は前泊をするのがほとんどだと思います。しかし、いつとどこで過ごすか選ぶのにもいろいろかならないところだとしても、実態が最も全く分かっていないことがあります。筆者は周親に協力してもらって、高校三年生の休みに大学に近いにある、受験会場への送迎が付いたホテルを予約しました。しかし、筑波大学近辺のホテルは秋になるとほぼ全埋まってしまっていて、その場で早期の予約をおすすめします。特に会場近への送迎付のホテルは予約開始直後には埋ってしまうことが多いので、情報をつく収束することが大切です。

ます。ほとんどの受験生がつくば駅に到着した

「筑波大循環」というバスに乗って試験会場に向かっています。臨時バスを運行してかりん池を周らしているものの、非常に混み合うので、余裕を持って試験の一日間前には会場に到着できるようにスケジュールだと運路の心がけがなされています。安心だと思います。当日はバスが駅から乗ってくるので、受験を誘導してくれている方がいらつりしやるので、指示に従ってください。なお、筑波大循環には右回りと左回りがあります。受験会場によって乗車時間が短くなる方がありますが、しかし、循環バスで来てて、できればどっちでも受験会場にたどり着くことはできます。

前述しましたが、つくば駅からのバスは非常

に計画を立てよう。自宅から向かったように混み合います。余裕を持って出発できるように筑波大学に話を聞いてみたところ、筑波大学まで二時間以内で到着できるようにあれば、宿泊しないことが多いようです。長時間の移動は疲れてしまう上に公共交通機関の乱れて動揺してしまふ可能性もあるので、個人的には迷ったら宿泊する、ことをおすすめします。

☐ 前日までの過ごし方

勉強はしてもきつけれど、と不安になる気持ちももちろんよく分かります。まず一番大切なことは、当日を健康に迎えることです。直前期には体を温めて、さないよう注意してはいます。当たらない前て絶対に必要ですが、悔い無く試験を終るために不安緊張が挟入ない」という場合には、思い切つて好きなことをして自分を癒してあげるのが、もつ手かも知れません。退い込み過ぎず、気楽に迎へていくことも時には大切ですね。

さらには試験前日になっても何をしようかというの
 からかならないかなる方にもうしやらないの
 これは個人的な話になっちゃうのですが、筆
 者の試験前日以前過ごし方を紹介します。まず
 筆者は前泊し、前日の夕方にホテルに
 到着するよに自宅を出発し、母と共に
 自家用車で行ったので、少し特殊なバリー
 ンかも知れません。向かう道中に車酔いし注意
 しながらおりたりわりに日本語帳を読んてい
 ました。また、好きな曲を車中で流しては
 緊張を緩和しておいた。ホテルに到着した後は
 買っておいた夕食を食べ、入浴を済ませた
 ち英語の予習、古文語や漢文の予習の確
 世界史の苦な時代の確認と、最終チェック
 をタイムでした。しかし、夜更かしはすい
 つもより早に就寝しました。筆者もそのま
 が、慣れない環境だと眠れなかった睡眠
 が浅くなったままだったります方もいら
 と思います。そういった方は、眠ること意識
 して、逆に目が冴えてくるので「相にな

当日の朝食につい

るだけでも休めている」と気楽に捉えてみてもいいかもしれません。筆者は母と雑談をするこ
とでかなり気が紛れました。

のが多かったようです

テルで出る食事を食べる（朝食の開始時間には
 要注意！）か、事前に買っておいしたものを食べ
 たという声がありました。インスタントみそ汁
 だと、温かくてしまったものがあると安心して
 食べるという人もいました（ホテルの部屋に湯沸
 かしポットがあるかは要チェック）。なお、前日
 の夕食も同様に、実家にいた人は特にいっても

ンビニで買って試験へ

とんとでした。また、親にお弁当を作ってもらったという人もいました。

前期試験では、約

服で受験したようです。私服を選んだ理由としては「体温調節がしやすい」「襟がなくて、締め付けが弱いためリラックスできる」という意見が多かったです。制服を選んだ理由としては「毎日着ているものなので気が引けず、締まる」「シンプルで間違いないという印象だった」という意見が多かったです。ちなみに筆者は共通テストも

- ・受かるという強い自

安定させるもの
受かるといふ強い自信

- ・お手洗いに行く。

□休憩時間の過ごし方
・お手洗いに行く。

- ・自信のない部分や以

- ・自信のない部分や以前間違えた部分の最終確認

話を聞いた

□保護者の方

話を聞いたところによると、受験生の約七割

て、ホテルで

です。筆者も母と共につくばまで自家用車で来て、ホテルで見送ってもらいました。つくばま

で保護者の方が着いてきてくれた場合、保護者の方は受験中に何をするのだろうか、と気になっている方もいらっしゃるでしょう。多くのの方はイースンなどの商業施設に行ったりホテルで過ごしたりしていると聞きました。また、私の母は合格した後のことも見据えて物件を探し



学群 / 学類紹介

ここでは筑波大学にある学類・専門学群を紹介します。

自分が総合学域群からどの学類に移行して、何をしたいかを考えるうえで参考にしてください。

人文・文化学群

日語

本語・日本文化学類はすべての学生が言語学、日本語教育学、文化人類学、歴史学、文学などに関する知識を幅広く学べるように一専攻制を採用しています。学類の理念に多文化共生があり、日本人と異なるバックグラウンドを持つ人々と次世代を作り上げるというコンセプトを持っています。

比文

比較文化学類では史学から地域研究、思想・宗教とくに幅広く探求ができます。ひとつの学問分野に閉ざされることのない開かれた知と批判的思考力を持った人材育成を目指していて、漫画や映画等ポップカルチャーも研究対象となる比較的自由な学類です。

人文

文学類は哲学・史学・考古学・民俗学・言語学の四専攻に分かれており、各専攻の中で更に十一のコースに分かれて探求しています。人文学の基本的な考え方を修得することを目的とし、基礎的な学問分野の教育を行っています。

社会・国際学群

社会学

社会学類は社会学・法学・政治学・経済学の四専攻に分かれており、我々を取り囲む社会について包括的かつ専門的に学ぶことができます。また、「ディシプリン型」を前提としており最初は四専攻分野をすべて学ぶ必要があります。

国際

国際総合学類は国際関係学・国際開発学・国際言語学に分かれており、留学生や外国語入試で合格した人も多いため多文化交流の機会も多いためです。留学に行く人も多くいますが、一方で「言語はあくまでもツール」の立場であり英語が苦手でも大丈夫です。

人間学群

心理

心理学類は脳と行動の基礎研究、心理統計学から発達臨床や心理カウンセリングに関する実践研究まで、ほぼすべての分野にわたって心理学を学べる国内最大規模の組織です。また、公認心理師取得のためのカリキュラムにも対応しています。

障科

障害科学類は障害を科学し、人間の本来の能力を探究し、人類と社会に貢献する人材を育てる日本では他に類を見ないユニークな学類です。社会福祉士国家試験受験資格や特別支援学校教諭免許状の取得ができます。

教育

教育学類は小学校教員免許状取得の必要科目の授業を集中的に学ぶ初等教育学コース・中学・高校教員、あるいは広く教育学を学ぶ教育学コースの二専攻に分かれており、幅広い教育の営みについてローカル・グローバル問わずその歴史的課題から現代的課題に至るまでを実践的・理論的に探究しています。

生命環境学群

生物

生物学類では生物学の基礎研究について個々の生命現象から生態系全体の話まで生物多様性領域、分子細胞領域、応用生物領域、人間生物領域などの授業をほぼ自由に履修することができます。筑波大学では特に微生物研究が盛んです。

資源

生物資源学類は農林生物学・応用生命科学・環境工学・社会経済学の四コースに分かれています。実際は医療系・土壌研究も行うことができ、履修条件を満たせば測量士補、自然再生士補の受験資格を取得できます。

地球

地球学類は地球の歴史、痕跡をたどる地球進化学・気象などの自然現象を対象にする地球環境学の二専攻に分かれており、国内外で充実したフィールドワーク教育を行っています。宇宙、天体に関する研究は物理学類の専攻であり地球学類ではできません。

理工学群

応理

応用理工学類は応用物理・電子・量子工学・物性工学・物質・分子工学の四専攻に分かれており、数学・物理学、化学、生物学などのサイエンス×応用力や創造力としてのテクノロジーの教育・研究を幅広く行っています。

社工

社会工学類は社会経済システム・経営工学・都市計画の三専攻に分かれており、社会問題に対して数理的に向き合おうという実践的な観点から経済学や経営学を学ぶことができます。

工シス

工学システム学類は知的・機能工学システム・エネルギー・メカニクスの二専攻に分かれており、一般的な大学工学部の大抵の学科を網羅した教育で技術者の育成を行っています。

数学

数学類は代数学・幾何学・解析学・情報数学について、自分の力で論理的に考える力を養い、美しく高度に体系化された数学を学ぶことができる学類です。また、履修条件を満たせば測量士補の受験資格を取得可能です。

物理

物理学類では素粒子理論・素粒子実験・宇宙理論・宇宙観測・原子核理論・原子核実験・物性理論・物性実験・プラズマ物理学について探求しており、カリキュラムは物理学に関するしっかりとした基礎、幅広い知識、応用力を特徴としています。

化学

化学類は一年次に自然科学全般を学習し、二年次から有機化学・無機・分析化学・物理化学の基幹三分野を軸に探求しています。他の学類と比べて実験やレポート、課題が多く、厳格な単位認定が行われています。

学食のススメ!



定食、丼、麺類などが食べられる、「ザ・学食」です。第2エリア食堂よりは狭いですが、松見池が見えて素敵です。メニューは第2エリア食堂とは異なる雰囲気です。ここも食券制で、食券を買ったらカウンターに行って頼んだものを受け取るという形式です。麺類は、第2エリア食堂に比べてラーメンの種類が豊富です。そばとうどんは奇数日と偶数日に入れ替わります。そばを食べたい気分なのうどんの日だった…とかがあるので気を付けてください。量はちょうどよく、味も美味しいです。



TSUKUBA TABLE (1学食堂)

11:00 ~ 13:30 (月~金)



ライス、パンなどとともに、世界中のスープを味わえるお店です。クラムチャウダーやグリーンカレーなどがあります。ハラルフードなども売っているので留学生の方たちも結構訪れている印象です。安くておいしくおしゃれなので、1人で行っても最高です。ここは2階なので松美池がよりきれいに見えると思います。池と緑を見つめて一息つきましょ。右の写真は、「ジャパニーズ チキン&ベジタブル」とパンです。想像よりも量が多くとてもおいしかったです。



スープファクトリー

11:30 ~ 14:30 (月~金)



情報学群

メ創

情報メディア創成学類は情報通信技術の基礎教育に加え、アートや人間、社会、デザインについて学びます。インターネットコンテンツについても探求しますがクリエイターではなく技術力で社会にインパクトを与えるエンジニアを養成する学類です。

情科

情報科学類はソフトウェアサイエンス・情報システム・知能情報メディアの三専攻に分かれており、情報技術の基礎から応用、理論から実践、ハードウェアからソフトウェアを包括的に探究しています。

知識

情報・図書館学類は知識科学・知識情報システム・情報資源経営の三専攻に分かれており、文理融合型の教育を展開しています。また、司書資格の取得ができます。

医学群

医学

医学類は一般的な医学・本格的に研究に取り組む新医学の二専攻に分かれており、医師国家資格取得を目指す学類です。カリキュラムの特徴として、ケースを基に学び問題解決力・生涯学習力・コミュニケーション力を育てる「PBL」・「ティートリアル」・自分の能力に応じて医療チームの一員として診療に参加する「クリニカル・クラークシップ」・医療人に求められる臨床能力について体系的に学ぶ「医療概論を三本の柱としています」。

看護

看護学類は看護学・留学生プログラムであるヘルスケアの二専攻に分かれており、看護師国家試験に向けて学習を行います。看護師を目指すだけでなく保健師・養護教諭を目指す選抜コースも設置されており、また、毎年一割ほどの学生が院進しています。

医療科

療科学類は医療科学・国際医療科学の二専攻に分かれており、医療科学の研究・教育を推進し、新たな診断・治療技術の開発と実践を担う高度専門医療人材を育成することを目的としています。また、臨床検査技師国家試験受験資格を取得できます。

芸術専門学群

芸専

芸術専門学群は美術史・芸術支援・洋画・日本画・彫塑・書・版画・構成・総合造形・エッセンス・ビジュアルデザイン・情報・プロダクトデザイン・環境デザイン・建築デザインの十四領域による幅広い見識と豊かな創造力をそなえた芸術の専門家を育成しています。

体育専門学群

体専

※総合学域群からの移行は不可。

体育専門学群は体育・スポーツ学・コーチング学・健康体力学の三分野に分かれており、体育・スポーツ・健康・コーチングに関する最新の科学的研究成果を活かしながら指導者の養成を目指しています。またキャリア支援科目では教員・公務員・コーチ・ビジネスの四コースが設定されています。

小食堂

11:00 ~ 13:00 (月～金)

「こだわりの昆布からとる出汁と鶏ガラからとるスープで麺ものをお作りしています。」とのこと。おひとり様も行きやすい、落ち着いた雰囲気があります。食券を買って、うどんかそばか、選んだほうに丸を付けたら、店員さんに渡します。自分の番号が呼ばれたら、取りに行って、席について、いただきます。食べ終わったら自分で返却口に持っていきます。ラーメンもあります。



カフェマルハバン

11:45 ~ 14:00 (月～金)

随処 小食堂と隣接しているお店です。テイクアウトのみですが、テラス席があるためそこで食べることができます。ハラル認証の食材によるメニューを提供しています。結構並んでいて、美味しそうな香りにつられた日本人学生や、留学生、穆斯林に大人気です。



本部棟の食堂

11:00 ~ 13:15 (月～金)

本部棟は正確には第2エリアではないのですが、第2エリア近くに立地しているのので、ここで紹介します。具体的には、2H棟と駐輪場(バイク含む)の間にある道路を2H棟から体育館を眺めるように進むと本部棟の施設に行き着きます。本部棟は学生が利用することは殆どありません。もしかしたら、ここに用があることなく学部 of 4年間を終える人もいるのでは…? そんな人知らない本部棟のレストランは主に本部棟で働く職員さん向けの食堂になります。席数もそんなに多くはありません。しかしその分、学食とは違った静かな雰囲気でご飯を食べることができます。しかもお味の方も好評…! 学食と比べると多少お値段は張りますが、1000円前後のものばかりで、超おすすめです。



2学エリア

第2エリア食堂

皆さんが想像する「大学の学食」です。座席数が多くて広い!! 裏技でもっと安くなる場合もあります。

8:20 ~ 15:00 (月～金)

11:00 ~ 13:15 (土)



①入口のカラフルおぼんを取って、列に並びます。好きな定食を選び、おぼんにのせて、小ライス、ライス、玄米、いずれかを選んで、味噌汁か中華スープのどちらかを選んで、おぼんにのせます。爆速レジに向かい、お会計します。好きな席に座って、いただきます。下の1番左の写真は、カシューナッツが入った中華料理です。

②お弁当も販売されています。オムライス、幕の内弁当、その他いろいろ、あなたが好きなものを選んで、爆速レジへ向かいます。お会計のあとは、どこで食べても構いません。外で食べるのもオツなものです。下の真ん中の写真がお弁当の画像です。

③定食が並んでいるゾーンの手前にある透明の扉の中に、「お惣菜」と称して、サラダやおかずが置いてあります。ひとつひとつに値段がついています。1個でも何個でも好きなものを取って、カラフルおぼんにのせます。米を食べたいなら、①と同じように並び、爆速レジへ向かいます。あとは①と同じです。いろいろ研究していい食べ方を突き詰めたものです。



医学エリア

医学食堂

おすすめは何といっても、右の写真の特
龍豚そばです！こちらは土浦のラーメン店、
龍介さんとコラボした一品で、学食とは思
えないほどの高クオリティーな二郎系ラー
メンが食べられます。本当においしいです
でぶっ飛びます。二郎系に行ってみたくい
店舗に行くのが怖いって人もここでなら安
心して食べることができます。
他にもチキンピリヤニやピザ、ハンバーガー
など何度行っても楽しめるほどのメニュー
が揃っています。すさまじいです…
気になった方は是非オープンキャンパス後
に訪れてみてください！



昼 11:00 ~ 14:30
夜 17:00 ~ 20:30
(月～土)



大学会館エリア

大学会館レストランプラザ 筑波デミ

筑波デミは大学会館に併設されているレ
ストランです。入口がちょっと分かりづら
い覚えがあります。ここは大学会館にある
だけあってか、内装が特に素敵です。天井
が高い…また、どれを頼んでもサラダ、ド
リンク、スープが付いてきて、おかわり自
由です！太っ腹すぎる。ちなみに、オープ
ンキャンパスでも筑波デミは利用できます
が、大学会館は大体どこかの学類がオープ
ンキャンパスに使っているの、めっちゃ
混み合った覚えがあります。訪れる場合は
お気をつけて！



昼 11:15 ~ 13:15
夜 17:00 ~ 20:30
(月～金)



その他 スターバックス

なんと筑波大学にはスターバックスがあ
るのです！中央図書館は文字通り中央図
書館に併設される形になっており、附属病
院店は医学エリアの近くにあります。中央
図書館店は第1、2、3エリアのどこから
もそんな遠くない距離にあるので、友達と
ちょっとリッチにお茶したり、空きコマを
過ごしたりするのに使われている印象です。
一方、附属病院店は一気に学生の雰囲気
が少なくなります。かといって、お医者さん
がよく利用されている雰囲気かという、と、
病院に用事のあった患者さん達が利用さ
れている印象です。つくば駅周辺にも2店舗
お店があるので、帰りにでも寄ってみては
いかでしょうか？



筑波大学中央図書館店
8:00 ~ 20:00 (月～金)
10:00 ~ 18:00 (土日)

筑波大学附属病院店
7:30 ~ 19:30 (月～金)

- ・体育・芸術エリアのお弁当販売／粉とクリーム
- ・第3エリア、第1エリア、体育・芸術エリアなどいくつかの場所でパンを販売する鈴家
- ・日替わりで体育・芸術エリア付近や松見池前に出店するキッチンカー

etc...

合格・入学後の生活のイメージトレーニングの一助となれば幸いです。
皆様が様々な学食を楽しめるようになるのを待っております。

3学エリア

粉とクリーム

9:00 ~ 17:00 (月～金)
パスタ 11:00 ~ 14:00 (月～金)



パン屋さんです。パスタも食べられます。
お弁当やサンドイッチもあります。行くだ
びに建物の外まで並んでいるのを目撃する
ので多方面から絶大な支持を受けているの
だと思います。(正直並びたくないの、行
く気が失せてしまう)。でも食べてみるとす
ごくおいしいので並ぶ価値は本当にあると
思います。あと、日替わりパスタ、日替わ
らない説があったりするらしいです、真偽
不明ですが。

3A棟フードコート カレー店

11:45 ~ 14:00 (月～金)



様々なカレーがあります。懐かしのカレー
が多めです。1番人気はおそらくカツカレー
かと思われます。13時ごろに行くとも毎回
売り切れていますね。まだ食べたことないの
で早く食べたい。
ちなみに、カツカレー以外も人気で、ここ
はお昼休憩の時間帯に行くとも大体長蛇の列
ができます。下手すると(ただでさえ短い
に)昼休みの時間で食べ終われない可能性が
あるので注意しましょう。

3A食堂

11:00 ~ 13:30 (月～金)



僕はここを一番使っています。粉クリや
フードコートが混んでいるなあ…と思って
もこっちはすぐ座れたりします。ここは食
券制で、ラーメンそばうどん、だけじゃな
く日替わりのプレートランチもあります。
麺類のレパートリーはここが一番多い気も
…(?) 餃子や台湾まぜそば、博多ラーメンな
どここでしか食べられないものも結構あり
ます。

右の写真は担当です。思ったよりも辛
くて、刺激的です(眠気覚ましにもなるかも。
(筆者談)) 座席数は第2エリア食堂よりは
少ないですが、開放的な雰囲気です。営業
終了後は主に3学の理系の学生たちの憩い
の場・勉強スペースになっています。

筑波大生の暮らし

大生になって1人暮らしをする人も多いと思うので、つくばでの部屋の探し方を簡単に紹介します。

■筑波大生の多いエリア

天久保

大学に近く飲食店も多い繁華街。

春日

春日エリア、つくば駅に近い。情報学群生が多い。

桜

家族連れが多く、比較的治安が良い。

01 アパートについて



〈家賃〉

大学周辺は2.5～7万円が多く、平均は4万円前後と思われます。

〈設備〉

重視するものは個人差がありますが、大学生活を送るうえでは「ネット環境」と「防音」が重要です。筑波大学はオンライン授業が多いので、ネット環境の整っている物件を選ぶか、個人で高品質のインターネット契約をするのがおすすめです。壁の薄さも不安材料になるので、内見をして確認するのが良いと思います。

〈物件を探し始める時期〉

2～3月（一般入試の前後）に探し始める人が多いですが、この時期には既に11月の推薦入試やAC入試で合格した人が物件を決めています。一般入試の合格発表後すぐに物件が埋まってしまうので、発表前から探すか、発表後早めに不動産会社に連絡する必要があります。

※筑波大学は大学院もキャンパスが同じなので、8～9月に空きが出ることがあります。入学前に物件を探す余裕のない人は、それまでは宿舎に入ったり宅通したりして、夏に物件を探す選択肢もあります。

■筑波大学の学生宿舎の種類

一の矢学生宿舎（2・3学エリアに近い）

平砂学生宿舎（体芸エリアに近い）

追越学生宿舎（医学エリアに近い）

春日学生宿舎（春日エリアに近い）

02 学生宿舎について



学生宿舎とは、筑波大学が学生に提供する住居のことです。大学は学生宿舎に関して「自律的な市民生活を体験させること」を目的としているため、いわゆる「学生寮」とは異なり門限や食事の提供はなく、一人一部屋が割り当てられますが、トイレ、シャワー、キッチンなどは共用です。

学生宿舎のメリットとして、初期費用を抑えやすく、家賃が比較的安い点に加え、通学の利便性の高さや学生同士の交流が生まれやすいことが挙げられます。また、日常的に居住者が掃除を行う必要があるのは自室のみであり、共用スペースについては週に一度清掃が入るため、生活面での負担が比較的少ない点もメリットの一つです。一方で、学生宿舎には、生活スタイルによっては不便に感じる点もあります。主なものとして、居室の狭さ、夜間の話し声や生活音などの騒音、共用設備であるトイレやシャワー、キッチンの衛生面が入居者のマナーに左右されること、さらに共用設備の利用が他の入居者と重なり自分の予定どおりに利用できないことが挙げられます。これらの感じ方には個人差があるため、自身の生活スタイルに合っているかを考えて選ぶことが大切です。

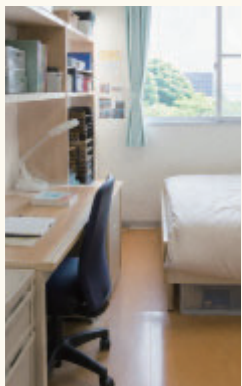
03 グローバルビレッジについて



グローバルビレッジも学生宿舎の1つではありますが、留学生との交流イベントがあったりして他の宿舎と比べて、一線を画す存在です。「入居したい!」という人も毎年多くいて、それでも住めない人がいる人気物件、そんなグローバルビレッジに住むメリット・デメリットを紹介します。

グローバルビレッジ（通称**グロビ**）は平砂学生宿舎の近くにあるシェアハウス型の宿舎です。名前に「グローバル」とあるとおり、五人ずつで構成される各ユニットに海外からの留学生が最低一人は住んでいます（たまに居ないユニットもあるようです）。グローバルビレッジのメリットは、**留学生との異文化交流**ができること、他の学生宿舎よりも広く、綺麗なことです。他の学生宿舎よりも後に建てられたため、内装も外装も新しく快適な環境となっています。デメリットとしては、**家賃やその他光熱費が高くなる**ことが挙げられます。また、ユニット内の掃除を自分で行わなければならないというデメリットもあります。他の宿舎ではトイレやシャワー室の清掃が週に一回入りますが、グローバルビレッジには清掃が入らないため、自分たちで掃除をする必要があります。そのため、同じユニットの人と最初に相談しておくことが大切です。

04 宅通について



自宅から大学へ通学することを筑波大生は「宅通」と呼びます。

筆者も宅通をしています、筑波大学では少数派です。下宿するか、通うか、迷う方のために、宅通のメリット・デメリットを紹介します。

〈メリット〉

・生活水準の高さ

一人暮らしだと自炊は大変で、外食に頼りがちになる人も多いですが、宅通の人は健康的な食生活を維持しやすいです。家事を家族と分担する（お任せする？）ので、生活は断然楽です。

・経済的な余裕がある

家賃や食費が節約できるのが要因です。他県から通う人は茨城県より最低賃金が高い場合があるため、自宅近くでアルバイトをするのもおすすめです。

〈デメリット〉

・通学に時間がかかる

宅通最大のデメリットです。1限がある日は授業が始まる8時40分までに大学に着く必要があり、早起さが苦手な人にとっては苦行です。帰りは終電・終バスを気にする必要があるため、サークル後のご飯会はなかなか行けづらいです。

・疎外感

1年生の時は学生宿舎に入る人も多く、その中でコミュニティが形成されるので、話題についていけないことがよくあります。終電・終バスのために、サークルの集まりを途中で抜けるものもあります。

memo

このパンフレットには、大学内で使われている用語がたくさん出てきます。読んでいただくにあたって、知っておくより分かりやすくなるので、授業システムについて少しだけ紹介します。

筑波大学の授業システム

総合学域群をもっと深く

専門導入科目

全学の学生を対象に、各学類・専門学群によって開設され、その専門分野の入り口となる科目です。異なる分野を目指す学生も履修できるような配慮されている科目が多いです。概論よりも易しいとされています。

事前登録科目

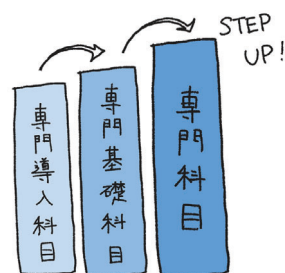
通常の履修登録とは別に履修を希望する旨の登録を行い、履修の人数を一定まで絞る抽選を行う科目のことです。専門導入科目は教室や先生のキャパシティに対して履修を希望する人が多くないがちなので、殆どが事前登録科目になります。

専門基礎科目

概論など各学類・専門学群の一年生が主に履修する科目です。

専門科目

各学類・専門学群ごとに学類生や二年生以上向けに開設されている授業で、総合生が履修することは少ない科目です。



モジュール

筑波大学は、「二学期制・六モジュール」という学年暦を用いています。これは、一年を二学期（春秋）に分け、それぞれの学期をさらにA・B・Cの三つのモジュール（ひとまとまりの期間）に分け、各モジュールで異なる授業が開講されているということです。五週間を「モジュール」という単位にまとめ、授業によっては期末（中間）テストや期末（中間）レポートが課されることになります。学生たちはこれらの期間を「春A」「秋B」のように呼びます。また、筑波大学の授業は「一コマ七十五分」となっており、一日に六時間まであります。基本的には月曜日から金曜日までの五日間が授業日ですが、授業によっては土曜日・日曜日に集中して行う授業もあります（集中授業といえます）。

令和8年度学年暦カレンダー

令和8年度学年暦カレンダー											
春学期						秋学期					
月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
4	1	2	3	4	5	10	11	12	1	2	3
6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31											
5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31				
6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31				
7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31				
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31				
9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31				
10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31				
11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31				
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31				

青色がAモジュール
青色がBモジュール
緑色がCモジュールだよ。
夏休みと春休みは1ヶ月くらいあるね...





「ソウゴウ！」

2026 年 7 月発行

筑波大学総合学域群オープンキャンパス 2026



ホームページはこちら▼

筑波大学総合学域群ホームページ <https://scs.tsukuba.ac.jp>

制作：2026 年度総合学域群オープンキャンパス準備委員会

